

官報

號外

明治四十年三月二十二日

金曜日

印刷局

○第二十三回 帝國議會 衆議院議事速記録第十九號

明治四十年三月二十一日(木曜日)午後一時十九分會議

議事日程 第十八號 明治四十年三月二十一日

午後一時開議

第一 藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第七 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第九 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(請願委員提出) 第一讀會

第十 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(築山和一提出) 第一讀會

第十一 會計法中改正法律案(森本駿外) 第一讀會

第十二 渡良瀬川改修工事ニ關スル建議案(木村牛兵衛) 第一讀會

第十三 大船渡鐵道鐵業ノ利益補給ニ關スル建議案(磯部四郎外) 第一讀會

第十四 司法官ノ待遇ニ關スル建議案(宮古啓三郎外) 第一讀會

第十五 北海道函館外四港修築ニ關スル建議案(淺羽晴外) 第一讀會

第十六 函館小樽室蘭三港修築速成ニ關スル建議案(高梨智四郎) 第一讀會

第十七 臺灣彩票局廢止建議案(根本君平外) 第一讀會

第十八 殖民廳設置ニ關スル建議案(十三名提出) 第一讀會

第十九 衆議院規則中改正案(田中定吉外) 第一讀會

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案

一 島田三郎君ヨリ谷中村ノ枉法破壞ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ
(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)
谷中村枉法破壞ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治四十年三月二十一日
提出者 島田 三郎 贊成者 飯島 省三郎
外三十四名

谷中村ノ枉法破壞ニ關スル質問書

一、栃木縣下都賀郡谷中村ヲ破壞シ人爲ヲ以テ土地ヲ衰頹セシメ詐リテ以テ其人
民ヲ誘惑シカヲ以テ其人ヲ驅逐シ其結果獨立村ノ狀態ヲ失シメテ之ヲ藤岡町ニ
合セシメ連年故意ニ堤防ヲ築カス村民私費ヲ醸シテ之ヲ築カントスルヲ妨ケ甚キハ
脅迫シテ之ヲ毀壞シ同時ニ土木吏員ヲ派シテ土地買収ヲ強井聽カサルモノハ土地收
用法ヲ適用セントス是レ國法ヲ無視シテ其民ヲ虐待スルモノニ非サル乎
一、明治二十五年ノ暴風雨水害ニ對シテ當時ノ縣知事溝部惟幾ハ災害土木費トシ
テ百〇八萬圓ノ縣債ヲ起ス計畫ヲ立テ臨時縣會ヲ開カントセシカ同年十二月申
科書事件ノ爲メニ溝部ハ入獄シタリシカハ菅井誠美赴任後二十六年一月十六日
臨時縣會ヲ開キテ溝部計畫ノ議案ヲ可決セシメ此金額中ヨリ四十一萬圓ヲ別途ト
シテ銀行ニ預ケ置キタルヲ白仁縣知事ニ至リ三十七年中之ヲ引出シテ新タニ收入
金ニ計算シ災害土木費若干萬圓ト算出シ之ニ對シテ國庫ヨリ補助費ニ二十二萬
圓ヲ得タルカ此内ヨリ縣費二十六萬圓國費十二萬圓合計四十八萬圓ヲ谷中村
補償處分費トシテ同村買収ヲ企テ以テ前記不法ノ處分ヲ繼續シツアリ年度此ノ
如ク錯雜セルハ既ニ不當ナルニ縣費ハ災害土木復舊費ニシテ新事業費ニアラス國費
ハ其補助費ナレハ之ヲ以テ復舊事業ノ他ニ使用スルヲ得サルコト明白ナリ然ルニ其
目的全ク異ニシテ且管轄ヲ異ニスル群馬縣邑樂郡海老瀨村及ヒ谷中村ノ隣村野
木村ノ土地等ノ買収ニ轉用スルハ違法ニアラサル乎

一、其概略ニ於テ土地一千二百町歩戸數四百五十八人口二千七百有シ四百年餘
ノ存在ヲ續ケ地產水產共ニ豐ニシテ其土壤全國一位ノ肥沃ト稱セラレ以テ儼然
ル一ノ獨立社會ヲ組織セリ然ルニ適確ノ理由ナク適法ノ手續ヲ經スシテ其人民ヲ救
濟スト稱シ其人民ヲ欺罔シテ虛偽ノ請願書ヲ出サシメ或ハ假立退ノ如キ感ヲ懷カシ
メ或ハ隨意ノ移住ノ如クニ取扱ヒ以テ一村ヲ破壞シ一千二百町歩ノ地ヲ水底ニ沈
メントスルハ不法ニ非サル乎
一、谷中村ハ勞銀ヲ控除シテ十五萬圓以上ノ純益アリ故ニ四朱ノ利子トシテ二百七

十五萬圓ノ價格アル村落ヲ四十八萬圓ノ限度トシテ之ヲ買收シ其獨立ノ村落ヲ破壊セントス村民ノ之ヲ肯セサルハ當然ノ事ニシテ政治ノ權力ヲ以テ之ヲ強ントスルハ虐政ニアラサルカ

一、縣廳ハ明治三十五年災害以後三十七年春マテ十萬圓ヲ以テ堤坊修築費ニ支出シタルモ其效ナシト稱シ之ヲ堅固ニナスニハ百二十萬圓ヲ要シ更ニ年々六萬圓ノ修繕費ヲ要スト稱シ之ヲ內務省ニ告ケ此報告ニヨリテ本村保存ノ道ナシト決シタリト是レ栃木縣土木課長堀内某カ縣會議員立會ノ上田中正造及ヒ谷中村々會議員及ヒ地主總代ニ語ル所ナリ蓋シ此報告ハ政府ヲシテ全村ヲ水地ト決意セシメタル所以ナル可シト雖村民ハ此報告ノ全ク虛偽ナルヲ證センカ爲メ去ル三十八年春自費ヲ醜シ且鄰村義民ノ助力ヲ得テ其費用僅ニ二千九百圓ヲ以テ假堤防ヲ修築シ之ニヨリテ夏作(大豆小豆麥管段等ヲ併セテ)七萬圓以上ノ收額アリ以テ日露大戰ニ際シ馬糧用ノ徵收ニ應シタリ此事實ハ十萬圓ノ堤防費ヲ空費セシ罪惡ヲ反證シ併セテ百二十萬圓ノ増築費ト年々六萬圓ノ修築費ヲ要ストノ虛欺ヲ反證スルニ足ラサル乎

一、全村ヲ水底ニ沈メントスル無情ノ處置ハ之ヲ以テ瀦水池トナシ洪水ノ際此ニ水ヲ蓄ヘ附近及ヒ下流ノ水勢ノ緩和セシメントスルニ在リト言フモノアレトモ渡良瀬川思川巴川ノ集流及ヒ利根川ノ逆流ヲ此地ニ集ムルノ計畫ハ一旦之ヲ集メテ散スルノ水勢激甚ニシテ却テ四鄰ヲ犯スノ害多キハ縣廳カ堤防ヲ築カサリシ結果三十九年ノ洪水全村ニ浸入シ暫時ニシテ瀦水池ト等シキ形勢ヲ現ハシタルモ之カタメニ毫モ近鄰下方ノ水害ヲ減セシメテ却テ其反流暴漲ノ猛烈ヲ加ヘタルハ以テ瀦水池設計ノ實效ナキヲ證スヘシ是事ヲ實見セシ前縣知事白仁武カ其實行ヲ企テタル過責ヲ自認スト廳内ノ公席ニ於テ縣會議員船田三四郎ニ語ル所ナリ此ノ如クナルモ尙ホ政府ハ之ヲ瀦水池ト爲スノ過失ヲ強行セントスル乎

一、抑木問題ノ起因ヲ尋ヌルニ茲民安生順四郎ナル者カ私利ノ爲メニ本村ニ土地ヲ獲ントシテ沼地ヲ買入レ排水器ヲ購入シテ之ヲ乾サント企テ其事失敗シテヨリ器械ハ不用ニ歸シタリ又安生ノ誘惑ニヨリ村會ハ二十一年中十萬圓ノ村債ヲ起スノ決議ヲ爲セシカ地價五萬圓ノ村會對シ十萬圓ヲ貸ス者ナク因テ明年ニ至リ五萬圓ヲ勸業銀行ヨリ借入レタリ是レ平年度ヲ隔アル認可ナキ別種ノ借入ニシテ安生ノ個人ニ屬スル負債ナルニ縣知事白仁武ハ三十八年ニ於テ土木補助費ヨリ七萬五千圓ヲ以テ排水器ヲ買上テ此內ヨリ知事ハ直接ニ勸業銀行ニ返金シ殘金一萬五千圓ハ其處置不明ニ歸シ而シテ排水器ハ僅ニ八百圓未滿ニ他ニ拂下タリ是レ檢査院カ一萬圓ト豫定セル排水器ニ對シテ七萬五千圓ヲ支出セシ點ヲ指摘シテ不法ト尤メタル内容ノ事實ナリトス內務省ハ此處置ヲ以テ不當ト見認メサル乎

右及質問等也 (參考書ハ衆議院議事速記錄第二十號ノ末ニ掲載ス)

○大熊三之助君 是ヨリ決算第三分科ノ委員ヲ……
○議長(杉田定一君) チョット御待下サイ——是ヨリ會議ヲ開キマス
○大熊三之助君 是ヨリ決算第三分科會ヲ開會致シタウゴザイマスカラ、本會ノ許可ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 大熊三之助君ヨリ決算ノ第三分科會ヲ開キタイト云フ申出ガアリマスガ、許可シテ御異議アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス
○大熊三之助君 決算第三分科ノ委員諸君ハ、決算委員會室ニ御集リテ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 是ヨリ農事改良獎勵ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタイト云フ、委員長多田作兵衛君ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス
○多田作兵衛君 農事改良ニ關スル建議案ノ委員諸君ハ、懲罰委員會室ニ御集リテ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 追加豫算案ノ委員總會ヲ開キタイト云フ、委員長栗原亮一君ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス
○栗原亮一君 豫算委員ノ諸君ハ豫算委員會室ニ御集リテ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 租稅其他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フ委員長海野謙次郎君ヨリ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス
○海野謙次郎君 租稅其他收入徵收處分ヲ囑託ニ關スル法律案ノ委員會諸君ハ、第十二委員會室ニ御集リテ願ヒマス

○花井卓藏君 本員ヨリ樺太ニ於ケル憲法法律ニ關スル質問書ヲ提出致シマシテ、既ニ多數ノ日子ヲ經過シテ居リマス、政府ノ質問ニ對スル待遇ハ極メテ重要ナル案件ニシテ、而シテ其責任ニ關スル問題ハ成ルベク答辯ヲ避ケテ、議會閉會前若クハ閉會當日ニ於テ答辯ヲスルト云フ惡慣例ヲ執リ來テ居ル、本案ニ對シテモ其態度ヲ執ラウカト思ハレ、最早會期ヲ餘ストコロモアリマセヌカラ、速ニ答辯ヲスルコトヲ議長ヨリ要求ニナランコトヲ希望スル、昨日海馬島ニ關スル質問ヲ出シマシタガ、書面ニ盡サレテ居リマスカラ、別ニ演壇ニ登テ演說ハ致シマセヌガ、早く答辯スルヤウニ議長カラ御催促アルヤウニ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 島田三郎君

(島田三郎君登壇)

○島田三郎君 諸君、本員が是ヨリ質問書ヲ差出シテ、其本文ニ付イテ説明ヲ致シマス、此問題ハ極メテ長キ年月ニ亙リテ、愈々紛糾ヲ極メテ居ル、其一部分ノ質問デアリマス、今日ハ既ニ會期モ切迫シテ居リ、花井君ノ如キハ海馬島ノ質問ヲ出サレテモ演説ヲセラズ、文意ニ盡サレタ位ノ場合デアリマス、本員ハ成ルベク此事ガ書面ニ盡シ得ルナラバ書面ヲ差出シテ思フタガ、何分盡シ得ナイ、今一ツハ斯ノ如キ問題ハ其地方ニ關係ノ方ニ譲リテ、本員ハ口ヲ閉キタクナイ希望デアリマス、問題ハ栃木縣ノ一部ヲ中心トシテ、四方ニ關係スル問題、其境モ茨城、群馬、埼玉ニ亙リテ、年々人民ヨリ苦情ヲ議會ニ訴ヘテ、本期議會ニ於テモ請願書トシテ現ハレテ居ル、彼ノ谷中村落ヲ瀦水地ニスル企ニ對シテ、牽聯シテイロノノ事情ガ出テ居ル、ソレガ地方廳ニ依リテ適當ニ代表サレカ、地方關係ノ議員諸君ノ中其事實ヲ中央ニ代表セラル、カスレバ、本員ハ地方ニ關係ノナイタメ説明ヲ其方ニ譲ルヲ希望スルノデアルガ、如何セン紛糾ノ事情事實ノアルガ故、政府モ此事ヲ調査サレズ居リ、頻々ト地方官ノ送ルタメ此問題解決ノ局ニ當ル人ガ定ラズ、此地方人民ヲ苦メ、法律規則ニ違ヒ、竝ニ關東地方ニ大ナル災——水害ヲ惹起スヤウナルノ本員ハ見テ居ルノデアリマス、併ナガラ前申ス通り、直接此地方ニ關係ナキモノデアラカラ、此問題ヲ事實ニ違ウタコトヲ議會ニ述ベテ、他ニ迷惑ヲ及ボシテハナラヌト思ヒ、又之ニ付イテハ大體縣知事及其下ニ立ツ官吏ノ人ミガ、本員ノ認ムルコロニ依ルト法律規則ニ違ヒ、竝ニ其所置ノ當ヲ失シテ居ルコトガアルノデ、其人ノコトヲモ文書中ニ加ヘナケレバナラヌカラ、慎重ニ慎重ヲ加ヘ事實ヲ訴ヘルコトヲ望ムガタメニ、前ニ説明スル能ハズシテ今日ニ至ツタ譯テ、此等ノ事情ヲ以テ、本員ハ己ムラ得ズ此ニ登壇シテ次第デアリマス、大體申スト、今日ニ於キマシテハ或ハ獄ニ投ゼラレテ死シ、或ハ他地方ニ赴イテ獄ニ投ゼラレテ居ル、斯ノ如キ品位ノ卑イ人ガ公ノ事務ニ與ツタタメニ、其人ガ虚偽ノ申立ヲ中央ニシテ中央政府モ、之ヲ土臺トシテ處分シ、ソレガタメ形ヲ變ヘ、或ハ帝國議會ノ決議トナリ、地方議會ノ決定トナテ、其決定ノ上、後ノ行政官ガ餘儀ナク處分シツ、アリ、其タメニ一部人民ハ非常ニ困難ニ陥リ居ル、之ヲ施行スルタメニ種々ナル惡行ガ行ハレ、其事ヲ良心ニ問ウタナラバ、此局ニ當ル縣知事ハ其職ニ居ルノヲ不安ト感ズルカ、頻々ト更迭ガアル、サウシテ其事情ト竝ニ怪シイ問題ヲ蔽ハンガタメ、虚偽ノ報告ヲシタリ、或ハ人ヲ欺キ、人ニ欺カレテ居ルノデ、大體ノ景勢ハ分ツテ居ルト思フ、斯ウ申スト如何ナル事情事實ガアルカ、之ニ付イテ少シク説明ヲ致サウト存ジマス、去ル明治三十五年關東ニ大暴風ガアリ、其タメ關東一面ニ害ヲ受ケタ、其内栃木縣足尾銅山ノ鑛毒ノタメ出水甚シク、加フルニ關東一面稀ナル暴風洪水ノタメニ大害ヲ受ケタノデアリマスガ、此時ニ於テ栃木縣知事ノ溝部惟幾ト云フ人ガアリマシタガ、此溝部惟幾ト云フ人ガ、災害土木費トシテ百八万圓ノ縣債ヲ起スト云フ計畫ヲ立テタ、是ハ議案ノ出來シタノガ十二月デアリマシタガ、當時世ノ中ヲ驚カシテ居リマシタコロ

ノ教科書事件ノタメニ、今日カラ見マシテモ當時カラ見マシテモ、實ニ日本帝國ノ汚辱デアリ官吏社會ノ汚辱デアルト云フ事跡ヲ留メタ教科書事件ノタメニ、縣知事在職中デアッテ、十二月下旬ニ獄ニ投ゼラレタ、二十九日カ三十日ニ捕縛セラレテ獄ニ入レラレタ、在職中獄ニ入レラレタト云フノデアリマス、隨分官吏社會ガ亂レ、風俗ガ紊レタリト云フコト、此事ハ最モ顯著ナ譯デアリマス、ソレ故ニ前ニ計畫シタ百八万圓ノ縣債ヲ起スト云フ議案ヲ臨時議會ニ附議セシメテ、其案成ツタルトキニ獄ニ投ゼラレマシタカ、中央ヨリ新タニ此縣ニ赴任シタル管井誠美ト云フ新知事ガ、此案ヲ其儘受繼ギマシテ、下調シテ屬官ノ處置ニ向ッテ、別ニ調査スル違モナク、既ニ出來上ツタ議案ヲ其儘縣會ニ附シテ一月十六日ニ開キマシタルコロノ即チ明治三十六年一月十六日ニ開キマシタル臨時議會ニ前ノ捕縛サレタル溝部ノ計畫ヲ其儘議ニ附シテ、之ヲ議決シタノデアリマス、所ガ此管井ト云フ人モ幾何モナクシテ縣知事ヲ去リマシテ、白仁武ト云フ人ガ後ヲ承ケテ此所へ參リ、此ノ如ク計畫ヲ立テタ人ト、議決シタ人ト、之ヲ施行スル人ガ三人迭テ居リマス、ソコデ此時管井ト云フ人ハ、斯ウ云フヤウニシタノデアリマス、唯今申シマシタル百八万圓ノ中カラ四十一万圓ヲ別途トシテ之ヲ銀行ニ預ケテ置イテ、其後ヲ承ケタル白仁武ト云フ人ガ三十七年ニ至ッテ之ヲ引出シテ、サウシテ新タナル收入金ノ如キ計算ニシマシテ、災害土木費若干万圓ト云フモノヲ又縣カラ新タニ募リマシタモノヲ合セテ、サウシテ之ヲ基礎トシテ國庫ノ補助ヲ請求シタノデアリマシテ、此時ニ帝國議會ハ二十二万圓ヲ之ニ對シテ補助シタノデアリマスガ、當時ハ丁度日露戰爭ノ方ニ起ツタ最初デアッテ、人ノ心モ大ニ動イテ居リマス、政府モ忙シイキデアッテ、其心ヲ他ニ轉ズルノ違ナキデアリマシタカラ、是ニ於テ此事モ餘リ精密ナル調査ヲセシメテ、二十二萬圓ヲ議會モ政府モ之ヲ正當ナルモノトシテ、其通ニ用二十二万圓ノ中カラ十二万圓ヲ集メテ、合計四十八万圓ト云フ金ヲ拵テ之ヲ以テ、谷中村ト云フ即チ栃木縣ノ下都賀郡ノ一部タルコロノ谷中村ヲ補助處分費ト云フ名義ヲ以テ、其土地家屋總テノ財産ヲ買フト云フコトヲヤツタ、是ガ第一ニ年度ノ違ウテ居リマスモノデ、本ガ災害補助費ト云フノ臨時ニ起リマシタコロノ風雨洪水ノ此復舊工事費ノタメニ募リマシタ縣債ノ中ヲ割イテ、サウシテ年度ノ違ウタコロノモノニ引分ケテ、之ヲ基礎トシテ國庫ノ補助ヲ請ウタノデアリマスガ、本ノ金ノ性質ハ土木復舊工事ニ相違ナイ、何故ナラバ此災害ノ土木費ト云フ大ナル名義ノ下ニ是ハ出來タノデアリマスカラ、復舊工事費ガアッテ、此復舊工事費ハ何時カ性質ヲ變テ、ソレヲ基礎トシテ國庫ニ補助ヲ請求シマシタ、國庫ガ之ヲ補助スルトキハ基礎ガ復舊工事費デアルカラ復舊工事費ノ補助ナケレバナラヌノデアリマスガ、今日ニ至リマスト全ク之ガ變化致シマシテ、サウシテ谷中村ト云フ四百年ノ沿革ヲ有ッテ居リ、其土地ハ千二百町歩アリマス、堤ノ中ガ凡ソ九百餘町歩アリマスガ、堤ノ外カラ堤ノ中ヲ加ヘマスト千三百町歩アッテ、戸數ガ四百五十、人口二千七百ヲ有シテ居リマシタコロノ土地モ誠ニ結

構アリマスシ、出ヨリ流出テタルコロノ土ガ集テ一ノ肥沃地トナツタノアリマスカラ、地産モ水産モ共ニ豐ナル儼然タル一箇ノ富シタル村デアッタノデアリマスガ、一方ハ鑛毒ノタメニ侵害セラレ、一方ハ斯ノ如キ水害ノタメニ衰ヘテ居ッタノデアリマスノト、此堤防ヲ築クコトニ付イテ又不正ノ手段ガ行ハレタノデアリマスガ、併ナガラ種々ナ事カラシテ唯今ノ如キ性質ノ違タル縣費竝ニ之ヲ基礎トシタルコロノ國費ノ補助ヲ合セテ、四十八萬圓ヲ以テ、此村ヲ買償ス費用ニ充テタノデアリマス、サウシテ今日ニ至リマスト云フト、其人民ハ甚ダ賤味デアルガタメニ、竝ニ縣廳ガ嘗テナシタルコロノ過ヲ蔽ハシタメニ、種々ナル手段ヲ以テ、手段ヲ種々變ヘマシタガタメニ、實ハ規則ヲ以テ如何ニ之ニ對スベキカト云フコトヲ役人モ行政府モ極度マテ紊亂シテ居ルノデアリマス、其一二ヲ擧ゲテ見ルト、栃木縣ノ土木ノ役人ガ隨意ノ賣買ヲナスト云フコトノ形ヲ以テ、管轄違ノ群馬縣ノ邑樂郡ノ海老瀬村ト云フ所ニ行キマシテ、愚カナル人民ヲ誘惑シテ其土地ヲ賣レト云フコトヲ一勸誘シツ、アルノデアル、又谷中村ト云フモノ、補助處分費、中項不正ニ代リマシタモノデアリマスカラ、谷中村ノ土地ヲ買フト云フコトナラバ、基礎ガ不正デアツテモ中項ノ名義ノ如キ形ニハナリマスガ、其隣ノ野木村ト云フヤウナ所ニマテヤハリ官吏ガ出張シテ此土地ヲ買フノデアル、此所デドウスルカト云フト、此谷中村ヲ中心トシテ之ヲ瀦水地トスル、之ヲ水溜所トスル譯デアリマスカラ、前ニ申シタコロノ千二百町歩ノ土地竝ニ家宅戸數四百五十、人口二千七百有シテ、四百年ノ沿革ヲ有ツテ居ル此土地ヲ水ノ底ニ沈メテシマハウト云フ處分ヲ令ヤリツ、アルノデアリマス、併シ中央政府ニ此事實ヲ曲ゲテ報告セラレテ居ルノハ、洪水ノタメニ年々人民ガ苦シテ居ルノハ氣ノ毒カラ救済スルト云フ報告ヲシテ、一方ニハ人民ヲ欺キ、一方ニハ中央政府ヲ欺キ、且人民ガ請願デアルト云フタメニ文字ノナイ知識ノナイコロノ人民ニコチカラ下書ヲ與ヘテ、其土地ヲ買ッテ呉レト云フ請願ノ體裁ヲ作テ判ヲ捺サセル、肯カザルモノハ他ノ犯罪ヲ認ヒテ之ヲ獄ニ投ジテ、或ハ強迫シテ承諾セシメルコトヲヤラセヤウトスルノガアル、愚カナルモノニ向ツテ、假立退ヲ命ジテ、後ニ返シテヤルト云フ言葉ヲ以テ其移ルコトヲ勸誘スルモノモアル、或ハ他ニ向ツテ隨意ノ移住ノ如ク取扱ツテ、サウシテ結局ノ目的ハ一村ヲ破壊シテ千二百町歩ノ土地ヲ水底ニ沈メヤウト云フ計畫ニナツテ居ル、第一ニ獨立ノ村ヲ潰スト云フコトナラ、ソコヘ水利土木ノ聯合モアルカラ規則ト手續ヲ經テ、サウシテ村ヲ潰スト云フコトガ本文ニナツテ、サウシテ其事ガ正シト認メラレタナラバ、之ニ對スル費用ハ縣ヨリ出シ、國ヨリ出スト云フコトナラベナラヌ、百歩ヲ彼等ニ讓ツテモ其手續ガ必要アルノニ、前ニ申シマシタ通り、災害土木費ト云フモノニナツテ居テ、其中ヲ割イテ之ヲ基礎ニシテ國庫ノ補助ヲ仰イテ、其補助費ヲ合セテ此村ヲ壊滅スルトコロノ費用ニ使ヒツ、アルト云フコトハ、ドウシテモ縱令是ガ一地方ニ現レタリト云フト雖モ、其土地人民ニ對シテ國家ガ之ヲ監督制止スベキコロノ仕事デアルト本員ハ思フノデアル、又此谷中村ノ上リ高ヲ概略積ツテ見マス、銘々働キマス勞銀ヲ除キ、大約十五萬圓以上ノ年々收益ノアルモノデアリマスカラ、四朱ノ利子ト不動産ノコトデア

リマスカラ見積ツテモ、大約二百七十五萬圓ノ價格アル村落ヲ、之ヲ四十八萬圓テ土地ヲ沈メ、其家屋ヲ壞シ、其堤ヲ破ツテ壊滅シテシマウト云フノハ、之ヲシテ知識アル國民ニ對シシメタナラバ、如何ナル憤慨ト紛擾ヲ以テ、此ノ如キ暴虐ノ處置ヲ見ルデゴサイマセウカ、憐ムベキ此等ノ人民ハ他ニ助ケル者モナク、又本人ノ權力ヲ適當ニ伸ブベキ方法ヲ知ラズシテ、此ノ如キ虐待ヲ今日受ケツ、アル、併シ之ニハ由來ガアルノデアリマス、詐欺ノ上ニ立テラレテ、其詐欺シタル者ノ名前モ今日擧ゲ得ルノデアリマス、而シテ其人ノ今日境遇モ茲ニ公然ト物語ルコトノ出來ル、詐欺ノ上ニ此ノ如キ事情ガ起ツタノデゴサイマス、明治三十五年災害以後ハ、二十七年春マデ約十萬圓ノ金ヲ縣會デ支出致シマシタ、堤防修築費ニ充テルト云フコトガアッタガ、其效果ナシト土木ノ官吏ガ縣廳ニ報告シテ居ル、サウシテ之ヲ堅固ニ本當ニ築キ直スニハ堤防費ガ百二十萬要ツテ、尙年々毀ハレルトコロノ修復スルノニ六萬圓ノ修繕費ガ要ルト、斯様ナコトヲ縣廳ヨリ内務省ニ申立ツタカラ、内務省デハ費用多クシテ、前途ニ甚ダ望ムナキモノデアルト云ツテ、本村ヲ永遠ニ保存スルノ望ガナイト判定セラレタモノト思フノデアリマスガ、是ハ内務省ガ自己ノ命令ヲ以テ、此任ニ赴カシメタルコロノ縣知事ノ報告デアルカラ、此縣知事ノ報告ヲ土臺トシテ、此事實ガ本當アルナラバ、實ハ保存ノ途ガナイト内務省ノ決シタト云フガ、其不明ハ内務省ガ第一ニ免レ無イ斯ウ云フコトニナツテ居ル、此ノ如キ慘憺タル有様デアリマスカラシテ、此處ノ村會議員竝ニ縣會議員之下有志ノ田中正造君ガ地主總代、村會議員此等ノ人々ト共ニ縣廳ノ土木課ニ說明ヲ求メニ往ツタノデアリマス、說明ヲ求メニ往キマシタラバ、唯今尙在職デアリマスガ、栃木縣ノ土木課長ノ堀内某ト云フ者ガ前ノ續ハ斯ウ云フヤウナ上申ニナツテ、内務省ノ決定ヲ經タノデアル、即チ百二十萬圓無ケレバ堤ガ出來ナイノデ、尙年々毀ハレルトコロノ修復スルタメニ六萬圓要ルト云フコトデ此決定カラ此村ヲ潰スト云フコトニナツテ居ルカラ、今ハ其決定ヲ實行スル最中デアル、此決定ハ已ニ極々タメノデアルカラ致方ガナイト云フコトヲ、縣會議員立會ノ上デ此等ノ人々ニ告ゲタノデアリマス、是ニ於テ唯今ヤツテ居リマストコロノ縣吏ハ、已ニ決定シテ順序ニ依ツテ、實行シツ、アルト云フケレドモ、是ハ本來無理デアリマスカラ、種々ナル紛紜ノ混亂ガ生ズルノデ、是ハ全ク虚偽ノコトデ、前二十萬圓ノ土木費ヲ掛ケテ之ニ出シタト云フノハ、詐欺ノ下ニ浪費サレテシマツテ、決シテ十萬圓ヲ要スルトコロノモノデモナケレバ、之ヲ堅固ニスルノ二百二十萬圓ヲ要スルモノデモナイ、併ナガラ此村民竝ニ有志ト云フ者ガ致方ガナイカラ、事實上ヨリ反對ノ證據ヲ擧ゲヤウト云フノデ、自分ノ費用ヲ集メテ竝ニ其隣村僅ヲ隔テタルコロノ、埼玉縣ノヤハリ愛ヲ同ウスル地勢ニ居ル村民ガ力ヲ以テ手傳ニ參ツテ、サウシテ其費用僅カ二千九百圓ヲ以テ假堤防ヲ築イタ、如何ニ假堤防デアッタカタ申シテ、百二十萬圓ヲ要スルト云フモノヲ、三千圓足ラズノモノデ假堤防ヲ築クト云フコトガ出來タ話デアリノデアリマスガ、首尾好ク假堤防ヲ人民ノ力ニ依ツテ築上テテ、之ニ依ツテ其年々夏作ガ種々ナモノヲ併セテ——大豆、小豆或ハ麥、菅、藪ナド、云フ地産水産ノ物ヲ合セテ七

万圓ト云フモノヲ收メ得タノデアリマス、二千圓足ラズノ金テ人民ノ自力ト竝ニ隣村ノ力役ノ助ニ依テ集メタ其費用ヲ以テ、堤防ヲ修築シテ其年ニ七万圓以上ノ收穫ガアツテ、恰モ日露戰爭ノ際テゴザイメンタカラ、之ヲ馬糧用ノ徵收ニ應ジテ、國ニ對スルコロノ義務ヲ此村ガ盡シタノデアリマス、十萬圓ノ堤防費ヲ三十五年ノ災害以後、三十七年春マテ中間一年ノ間ニ掛ケテ其金ト云フモノハ何處ヘ散ラカ分ラヌト云フモノデアルノニ、人民ノ方デヤレバ二千圓足ラズノ金ヲ以テ七萬圓ノ收入ヲ得ル、此ノ如キ地勢ヲ最早絶望デアルト内務省ニ報告シタト云フコトハ、此事實カラ見レバ全ク虚偽ノ申立デアル、中央政府ヲ欺イテ此ノ如キ非曲ヲ地方ノ官吏ガヤツト云フコトガ分明シタノデアリマスルカラ、地方人民ノ憤慨一方ナラズ、志アル者ハ憐ムベシト云フコトハ、之ヲ助ケルトコロノ擧ガ四隣ニ起テ居テ、管轄邊ノ埼玉縣ノ人民モ之ヲ助ケルニ至ラヌデアリマス、斯ウ云フヤウナ譯テアツテ、ソレナラバ此ノ如キ處ヲ瀦水池ニスルト云フ原因ハドウデアルカト云フト、斯ウ云フコトニナツテ居ル、是ハ渡良瀬川、思川、竝ニ利根川、ソレニ巴、波川此等ノ河ガ此四隣ニアリマスルガタメニ、又足尾ノ鑛毒竝ニ土砂ノタメニ此河ヲ大ニ埋メラレテ居テ、取分ケ渡良瀬川ノ水底ガ高クナタモノデアリマスルカラ、水害ガ頻々アルノト、下流ニ鐵橋ヲ鐵道ノタメニ架ケタモノデアリマスルカラ、此栗橋鐵橋ノタメニ河幅ヲ狹メラレテ居ルガ故ニ、水害ガ多イデアル、之ヲ除クガタメニハ此處ニ瀦水池ヲ拵ヘテ水溜ヲ造ラテ水害ヲ防グコトガ出來ルデアラウト云フ、此勿卒ナル調ト、甚ダ人權ト竝ニ村ノ存立ト云フコトヲ一向意ニシナイ、他人ノ憂ヲ慮ラザル匆卒ナル調査カラ之ヲ水溜ニスルト云フコトニ決シテ、此ノ如キコトニ推移シタノデアリマスルガ、然ルニ之ハ種々ナ事カラ、之ヲ水溜ニシテモ結局本流ヲ能ク疏通シナケレバ水害ヲ防グコトノ出來ヌ、却テ其水害ノ大ナルト云フコトノ事實ガ現ハレタノデアリマシテ、茲ニ一ツノ水溜ヲ拵ヘマシタトコロガ、其水溜ガ決シテ此水勢ヲ殺グニ足ラヌト云フコトヲ計算モアルノデアリマシテ、其計算ヲ書面上テ見ルト、明治三十七年十二月谷中村ヲ瀦水池トスルト云フコトニ付イテノ問答ノトキニ、政府ガ此質問ニ應ジテ、凡ソ此處ニ入ルベキ水量二十九億零九百四十八万七千六百三十六尺立方ト斯ウ答ヘテアルノデスガ、併ナガラ谷中村ニ入ルベキ其容積ハドノ位カト云フト、前ニ申シマシタ千二百町歩ト云フノハ、堤ヲ入レタノト、堤外地ヲ入レタ計算デアリマスカラ、谷中村ノ中ニ水ヲ入レルト云フコトニナリマスルト、九百三十餘町歩デアリマスカラ其容積ガ二百八十八万坪ニナルノデアリマス、之ニ入レマストコロノ容積ハ十八億四千四百八十八万立方尺ニ過ギナイノデアリマスカラ、谷中村ヲ瀦水池トスル其容積如何ト云フ問ニ對シテ、政府ノ答ハ二十九億零九百四十八万七千六百三十六尺立方ト答ヘテアリマスルガ、現在調ベタトコロニ依ルト十八億四千四百四十何万立方尺ヨリ外ナイトコロノ地積ニ對シテ、如何ニシテ之ヲ容レルコトガ出來ルカ、果セルカナ現ニ或ル土木官吏ト云フニ聯帶シテ居ル官吏ガ此土木費ヲ私シテ、或ハ堤ヲ望ナキモノトセンガタメニ故意ニ之ヲ破壞シ、或ハ之ヲ築カナカッタタメニ實際大雨ノ降りマシタ——洪水ノ出マシタトキニ是ガ瀦水池ノ如キ形勢ニナツテ、アノ堤、上ニ逃上

ルカ、若クハ高イ處ニ家ヲ持テ居ル者タケガ居ルノミテ、堤ヲ除イテハ殘ラズ瀦水池ノ如キ形勢ニナツタコトガアリマスルガ、是ガタメニ少シモ他ノ水勢ヲ減シナカッタ、却テ此處ニ一度集テ、其處ヲ瀦池ト居ラタモノガ、一時ニ汎濫スルノデアリマスカラ、近隣ノ村落ト云フモノハ非常ナル迷惑ヲシテ、今期議會ニモヤハリ此苦情ト云フモノハ、請願委員ノ手ニ書面ガ呈セラレテアルト記憶シテ居リマスガ、此調査ノ過ラハ三十九年ノ洪水ガ全村ヲ浸シタトキニ明ニ證明セラレテ居ル、若モ政府ノ容積ヲ積ラタトコロカラ現在ノ容積、此實地ヲ比較シテ見マシタナラバ、唯今本員ガ擧ゲタルガ如ク逆モ中ニ入リキラヌデアリマスルカラ、逆モ望ノナイコトハ、眞ニ治水工事ヲ起シ、利根ヲ改修シ、或ハ附近ノ河底ヲ疏通シ——開鑿致セバ此被害ヲ除クコトガ出來ル、憐ムベキ助ケナキ一村ヲ瀦池ト瀦水池トシタトコロガ、決シテ此水勢ヲ殺グコトガ出來ナイ、是デ一ツノ最モ記憶スベキトコロノ事實ガ現ハレタノデアリマシテ、前ニ此事ヲ溝部知事ノトキニ計畫ヲシテ、サウシテ管井知事ノトキニ之ヲ決定シテ、サウシテ此人ガ僅ノ間ニ去ツテ、次ニ來タル白仁武ト云フ縣知事ガ之ヲ實行スル運命ニナツタノデアリマスカラ、此人ガ頻リニ此事ヲ遣ラタ、併ナガラ人民ハ前ニ申シマシタ通り、三百七十五萬圓位ノモノヲ見積レルトコロノ、サウシテ其上ニ現在十五萬圓程ノ金ノ上ルノト、竝ニ日露戰爭ノ間ニ僅ニ假リ堤防ヲ拵ヘマシレバ七萬圓以上ノ夏作ノ取レタ地デアリマスカラ、之ヲ四十八萬圓ニ買潰サレルト云フコトハ惜シキモノトシテ、何分ニモ手放サレヌ苦情紛々トシテ居ルノデアリマスガ、白仁前知事ハ之ヲ實行センガタメニ之ヲ瀦水池トスレバ、水害ヲ除ケルト云フ、此事實ヲ信シテ之ヲ遣リ掛ケテ見タトコロガ、其在職中ニ洪水汎濫其效ノナイト云フ事實ガ擧ゲタカラ、實ハ良心ニ於テ此實行ニ付イテハ餘程困難ヲ感シタト見ユル、ソレ故ニ此人ガ職ヲ轉シテ中央ニ參ル間際ニ、縣會議員船田三四郎ト申ス人物ガ、白仁知事ニ會フテ此事跡ハ如何ト問ヒマシタルトキニ、知事ハ之ヲ遣ルコトニ付イテハ——引續キノ仕事ヲ決行シヤウト云フコトニ付イテハ、心ニ恥ルトコロガ多イト、縣廳ノ公ノ席ニ於テ語ッタト承テ居リマスガ、前ニ本員ガ此質問ヲ説明スルニ當ツテ、今日マテ躊躇シタノハ、斯ノ如ク溝部知事竝ニ今日他ニ職ヲ有テ居リマスル管井、白仁等諸氏ノ名前マテ茲ニ列擧シナケレバナラヌト云フコトデアリマスカラ、本員ハ良心ニ信シ得ルマテ開得ルマデハ公言スルコトヲ憚ラテ躊躇シテ居ラタノデアルガ、今日己ムヲ得ズ質問スル所以デアリマス、此ノ如ク種々ナル形勢ガ蟠テ居リマスルガ、縣廳トシテ唯今此行掛リラドウカシナケレバナラヌト云フ事實ニナツテ居ルガ、若シ勇敢ナル良心鋭敏ナル知事ガアツテ、前ノ事ヲ翻シテ中央政府ニ事情ヲ具シテ此事ハ全ク思違ヒノ處分ヲ引繼ギテ居ルノデアルト云フ言ハ得ル人ニアラズシテ、己ムヲ得ズシテ栃木縣知事トナツテ、之ヲ實行シヤウト云フコトキハ、餘程難儀ノコトガ起ルデアラウト思フノデアル、良心鈍キトコロノ人ハ無理ナルコトヲ實行セントシ、良心鋭敏ナル人ハ成ルベク其職ヲ轉シテ事ニ與カラヌトスルハ、是レ人情ノ當然ト思フ、抑、事ノ此處ニ至ラタ原因ヲ尋ネマスルト、是ニハ由來ガアルノデアリマス、私ハ奸人ト明言シテ可ナリト思ヒマスガ、奸人安生順四郎ト云フ郡長ガアリマシテ、此狡猾ナ

ルトコロノ安生順四郎ナル者ハ、此水損ノアル、併ナガラ極ク土地ノ肥ヘテ居ル利益ノアル所テ、自分ノ大ナル利益ヲ營マンガタメニ新田ヲ開カントシテ、隣接赤間沼ノ方ヘ掘テ築カセテ、サウシテコレニ依テ新田ナル地ヲ拓キ、且是ニ排水機ヲ施シマシテ此排水機ヲ以テ總テ水ヲ排除シテ、村總體ノ利益ヲ起スト云フコトニナッタラ、一段ニ付イテ一斗五升ヲ、ノ利益ヲ收メルト云フ契約ヲナシテ此村ニ手ヲ著ケタノハ餘程以前ノコトデゴザイマスガ、此者ハ今日滿洲ニ參テ居テ、軍票ヲ詐欺シタト云フコトノタメニ、唯今獄ニ繋ガレテ居リマス、本員ハ此人物ノ甚ク奸猾狡猾ナルコトヲ存テ居リマスガ、果セルカナ今日ハ獄裡ノ人トナシテ居ル、此安生順四郎君ナル者ガ此村ニ手ヲ下シ、又前記ノ如ク不正ノ經費ヲ亂用スル發頭人溝部惟幾アリマシテ、是亦縣ノ在職デアリナガラ獄ニ投ゼラレ、獄ヲ出テ二日程後ニ死ニマシタ氣ノ毒ナル終リテ遂ゲタガ、此男モ安生トハ似寄ラタトコロノ者アル、今日本員ノ感慨ニ堪ヘマセヌハ、近來議會ニ向テ甚ク穩テザル品評ヲ加ヘル者ガアル、議會ガ腐敗シタト云フ品評ノアルハ本員國ノ爲メニ歎息致シマスガ、官吏社會ノ腐敗墮落ト云フモノモ驚クベキモノデアルト思フデアリマス、唯一ノ致科書事件ノタメニ溝部ハ牢死ニ等シキ終リ遂ゲタノデアリマスガ、此者ガ企テ、此ノ如キ公ノ費用ヲ使ヒマシタ其端緒ヲ開イテ、今日ハソレ程憎ムベキ人物ノシタコトデモ行政上ノ行掛リシテ之ヲ遣リツ、アル、サウシテ此村ノ人民ハ如何デアアルカト云フト、日露ノ大戦ニハ共ニ兵役ヲ勤メ、其中ノ二人ハ決死隊トナシテ南山ノ役ニ地雷火ヲ踏シテ死シタ、其後ニ光榮アル賞金ヲ死後ニ賜タル人物モ此憐ムベキ村カラ出テ居ルノデアリマス、是等ノ者ハ正シキ稅ヲ拂ヒ、其土地ヲ耕シテ、サウシテ或ハ身ヲ以テ軍役ニ從テ、國ニ對シテ此ノ如キ勇敢壯烈ナル義務ヲ盡シタル人民ガ、唯智力ノ乏レキガタメニ世ノ中ノ形勢ニ通ゼザルガタメニ、此ノ如ク官吏ノタメニ慘害ヲ被ルト云フコトニ至ッテハ、本員甚ク憤慨ニ堪エヌノデアリマス、議會ノ腐敗シタト云フヨリハ、併セテ政府ノ墮落シタト云フ聲ノ方ガ一層適切ニ響カウト思フデアリマス、斯ウ云フヤウナコトテ、安生順四郎ト云フモノハ此土地ニ於テ利益ヲ營マウトシタガ失敗シタ、此結果ガヤハリ國ニ厄介ヲ掛ケルコトニナッタガ、彼ハ三十一年中村民ヲ誘惑シテ十萬圓ノ村債ヲ起スト云フコトヲ決議セシメタ、所ガ地價五萬圓デアリマシテ、極ク肥沃ノ土地テ水損ハアルガ、收穫モ多イヤウナ土地デアリマスガ、表向キノ地價ハ極メテ低イノデアリマスカラ、地價ハ五萬圓ニ過ギナイ、所ガ金ヲ貸シマスル方ハ臺帳ニ載テ居リマスルトコロノ五萬圓ニ對シテ、十萬圓ノ村債ヲ貸スコトハ無論出來ナイコトデアリマスカラ、此當時ハ空シク之ヲ實行スルコト能ハズシテ、三十一年ノ議決ト云フモノハ空ニ歸シテシマッタ、其翌年ニナツテ、五萬圓ノ地價ノトコロハ五萬圓ノ金ヲ勸業銀行カラ借リタノデアル、前ノ十萬圓ハ丁度憲政内閣ノトキニ板垣伯ガ内務大臣デアツテ、其時ニ之ヲ認可シタノデアリマス、然ルニ貸ス者ガナイタメニ十萬圓ノ村債ヲ起スト云フ土臺ガ動イテシマツテ、翌年ニナリマシタカラ、十萬圓ノ決議ハ空ニナツテ、次ニ内務大臣大藏大臣ノ認可ノナイ五萬圓ヲ勸業銀行カラ借リタノデアルカラ、是ハ一己人ノ負債テ、決シ

テ村ノ負擔スベキ負債デハナイノデアリマス、明白ニ法律ニ違ッテ居リマス、前ノ議決ト年度ガ違ヒマスル、金額ガ違ヒマスル、實際モ安生ガ違ッテシマツテ村民ハ一錢モ違ハナイノデアル、併ナガラ此狡猾ナル安生ナル者モ此ノ如キ法律ノ上ニ付イテ氣ガ附カナカッタト見エテ己レガ村民ノ名ヲ冒シテ自分ノ利益ヲ五萬圓取ツテ、之ヲ使ッテシマツテ、帳面ノ上ニハ是ハ村ノ負債トシタガ、違法ノ者デカラ村債ニナラヌ、證據ヲ遺シタノハ天罰トモ云フベキデアアル、此結果ガ即チ今年ノ決算ノ上ニ現ハレテ、一ノ破綻ガ起リタノデアリマシテ、前知事ノ白仁武君ト云フモノハ前ノ引繼トシテ、之ヲ決行センガタメニ土木補助費ノ中カラ七萬五千圓ト云フモノヲ此排水機ヲ買上ルト云フコトニ仕拂ッタノデアリマス、排水機ハ既ニ豫定ノ一萬圓ニ充テテ居ルノデアアル、是ニ向ッテ七萬五千圓ヲ拂ッタト云フノハ如何ナル仕拂デアアルカト云フ詰問ガ會計検査院カラ出テ、決算ノ上ニ一ノ疑問デハナイ、本員カラ見レバ全ク不正ノ仕拂デアルト思フノデゴザイマスガ、規則モ何モ要リヤウガナイ、常識ヲ以テ見マシテモ一萬ノ金ガ既ニ費束ナイ、何故ナラバ此排水機ハ用ヲ爲サズシテ、失敗シタガタメニ其後更ニ此堤防ノ費用ヲ村ノ負擔トシヤウト云フコトヲ以テ、村民ヲ欺イテ治水費十萬圓ヲ募シマシタ、ソレガ募ルコトガ出來ナイノデ、即チ勸業銀行カラ五萬圓借入レタ事跡ハ、今ノ安生ノ排水器ノ用ヲ爲サズ事實ガ現ハレタ、買入レタトキニ一萬圓ノ排水器デアラナラバ、之ヲ買上ゲルトキニハ凡ソ十圓カ、二千圓カ、或ハ真ニ見積リマシタラ、モツト低イモノデアラウト思フノニ、縣知事ハ七萬五千圓ヲ此排水器ニ向ッテ拂ッタ、而モ七萬五千圓ハ其儘縣テ預ッテ勸業銀行ニ五萬圓ヲ返シテヤッタ、是ニ至ッテ亂雜驚クベシデアツテ、一方ニ規則ニ違ッテ居ル金、安生ガ費消シマシタ金ガ五萬圓デアアルノデアルカラ、是ハ安生個人ノ負債テ、勸業銀行ガ手續ノ違ッテ貸付ラシタノデアルカラ、若シ安生ガ拂ハナケレバ勸業銀行ノ損失ニ歸スベキトコロヲ、此憐レナル住民ノ負債トシタノミナラヌ、之ニ向ッテ七萬五千圓ト云フモノヲ安生ニ仕拂フトコロノ帳簿ヲ作ッテ、其中ヨリ縣ガ直接ニ五萬圓ヲ仕拂ッテヤッタト云フ譯テ、何タル亂雜ナ處置デアラウカ、法律ニ違ヒ、規則ヲ犯シ、當然爲スベキ計算ヲシナカッタト云フヨリモ、寧ロ明白ニ不正ノ仕拂ヲサシタリト斷定スルコトガ至當ト本員ハ思フ、サウシテ尙愈々笑フベキカ、憤ルベキカト云フ事實ハ、排水器ヲ縣テ引取リマシテ後トテ如何シタカト云フト、八百圓テ何者ガニ拂下ゲテシマツタ、實ハ八百圓位ノ値打シカナイト思フ、其儘用ヲナサズ是ガ役ニ立タナカッタ、斯ノ如キコトデ負債ガ起リタノデアリマスカラ、サウシマスルト云フト此奸猾狡猾ナルコロノ安生ヲ蔽ハンガタメニ、國ノ費用、縣ノ費用テ七萬五千圓ヲ仕拂ッテ、サウシテ此ノ如キコトノ處分ヲナシタト云フコトハ不正ニアラスシテ何ゾ、犯則ニアラスシテ何ゾ、一方ニ奸民ヲ保護シテ正シキトコロノ租稅ヲ拂ヒ、國ノタメニ一身ヲ獻ズルトコロノ良民ヲ慘害シテ、サウシテ其村ヲ水底ニ埋メントスル處置ヲナシツ、之ト同時ニ滿洲ニ於テ軍票ヲ偽造シテ獄ニ投ゼラレレ如キ惡漢ニ向ッテ、其負債ヲ仕拂ッテヤッタト云フコトハ、縣廳ガ全ク情實ノ府ニナツテ居ッテ、中央政府ノ知ラサル中ニ、如何ナル困難ヲ國民ニ與ヘテ居

ルカト云フコトハ、是等ノ裏面ヲ見レバ明白デアラウト私ハ思フデアリマス、流石ニ検査院ノ諸君モ是程ノ事實ガアラウト思ハナクマカラ、唯一万圓ト豫定シテアツテ、仕拂フトコロノ豫算ニテ居ルモノニ、七万五千圓ヲ拂ツタノハイカスト云フコトニテ居ル、ソレニハ内務省カラ幾ツタカ何トカ虚偽ノ辯明ヲシテアリマスガ、是等ノ頗末ハ唯今本員ガ申述ベタル如ク、全ク元ト村テ仕拂フベキ金ノ性質ニハアラスシテ、安生一個人ノ借財ヲ縣廳ニ於テ何ノ義務アツテカ、其金ヨリモ數倍ニシテ七万五千圓ヲ破レ壞ラハタル排水器ノタメニ仕拂フ、尙本員ガ其政治ノ濁テ居テ、其上ニ行ハレテ居ルトコロノ事情ヲ世ノ中ニ披露センガタメニ、茲ニ一言附加ヘマスガ安生ノ負債ニ對シテ排水器ノ代價トシテ七万五千圓ヲ仕拂フ、五万圓ヲ勸業銀行ニ仕拂フ、後ト二万五千圓ハ不明ニ歸シテ居ル、不明ニ歸シテ居ルノハ此事ヲヤリマスルニハ、縣會議員モ汚レタルトコロノ者ヲ買収シナケレバナラス、ソレ等ノタメニ此金ヲ仕拂フ、云フ次第ア、是ガ爲メニ縣會議員參事會員ノ中ニハ此二万五千圓ノ割前ノヤリ取りニ付イテ、一ノ紛議ヲ起シテ告訴スルト云フ見惡イ事跡ヲ栃木縣廳ノ下ニ惹起シテ、此收賄者ハ縣ノ公人テ、贈賄者ハ縣知事デアアル、之ガタメ縣參事會員横尾輝吉、縣會議員柳原經武、關口吾一郎等ハ其醜迹ヲ公ニセラレタガ、此外現ハレザル收賄者ハ何人アルカ分ラヌ、之ガタメニ横尾ハ進歩黨ヲ除名セラレタガ、贈賄者ハ依然官吏トシテ立テ居ル、此一事件ケラ比較スレバ政府部内ノ腐敗シテ、毫モ制裁ナキハ政黨ヨリモ議會ヨリモ一層甚シイト推定セバナラス、谷中地方ニ現ハレ、栃木縣廳ノ下ニ現ハレタ事情ヲ以テ全國ヲ推量ラレルト私ハ思フデアリマス、而シテ是等ノ事跡ヲ蔽ハンガタメニ、是等ノ暴政ヲ糊塗センガタメニ、新聞ヲ買収シナケレバナラス、議員ヲ買収シナケレバナラス、ソレテ栃木縣ノ新聞紙ガ此事實ヲ世ノ中ニ傳ヘルトコロノ筆ヲ止メタノハ、蓋シ二万五千圓ヲ是等ノモノニ遣ハシタデアラウト云フノハ、世間ノ考ヘルトコロガ大抵茲ニ歸着シテ居ルデアリマス、サウシテ其無理ヲ行ハンガタメニ、ドウシテモ虐政ヲ行ハナケレバナラスト云フコトハ本員ハ一層憤慨ニ堪ヘナイデアリマス、本員ハ曾テ明治二十五年ニ全國ニ行ハレタルトコロノ選舉干渉ノ事實ヲ舉グルニ當テ、憤慨ニ堪ヘナカッタガ、是ハ全國ニ亙ラテノ事件デアアルガ、當時ハ世ノ中ノ議論ト云フモノガ此ノ如ク横暴亂舉ガ一方ニ甚ダ盛ンデアツタガ、他ノ一方ニハ之ヲ矯正スル抵抗モチカノ強カッタガ、今日ノ事ハ是ヨリ更ニ憐ムベシ、其人民ハ地ヲ耕ス勤勉順良ナル、併ナカラ自ラ權利ヲ擁護スル力無キ醇朴ノ稼人デアリマスケレドモ、世間ノ事情ニハ蒙昧デアツテ、申サバ無智無力ノ人民デアリマスカラ、奸人ノタメニ苦メラレタ其幅ハ一村限リアリマスケレドモ、其酷虐ハ一層甚シイモノデアルト本員ハ思フデアリマス、其事實ハ本員ハ此壇ヨリ公ケニ世間ニ披露シテ、其一端ヲ國民ニ知ラシメナケレバナラスト思フテ居リマス、茲ニ其虐待サレタ證據物ガアル、ソレハ斯ウデアアル、ドウシテモ一方ノ人民ガ隨意ニ土地ヲ賣ラナケレバ、其仕事ヲヤルコトガ出來ナイ、二百七十五萬圓位デアラウト思フモノヲ、四十八萬圓買フト云フデアアルカラ、行ハレヌ話デアアル、此行ハレナイト云フノハ地價ヲ引下クナケレバ出來ナイコトデアアルカラ、栃木縣

廳ハ此所ニ堤ヲ築カセヌ、堤ヲ築イテモ到底見込ガナイト云フ暴言ノ下ニ數年ノ間堤ヲ築カヌカラ、出水スルト赤間沼カラ水ガ這入りマシテ、其人民ハ大ニ窮テ無論抵當ニスルコトガ出來ナケレバ、貸借モ絶エテシマフ、此地面ト云フモノハ年々價ナカラシメルデアリマスガ、尙此間ニ立ッテ又此憐ムベキ人民ヲ助ケルトコロノ義勇ノ人ガアルガタメニ、極端マテ忍耐シテ少數ノ人ハ此土地ヲ賣ルマイト、斯ウナッテ居ルデアツタ、跡ニ殘テ居ル者ガ少數デアリマスガ、尙此村ヲ維持シテ居ル、此維持シテ居ルモノヲ抑壓センガタメニ、不思議ナル金ノ出所ガアル、尙不思議ナル運動者ガ現ハレタ、本員ガ茲ニ其名前ヲ舉ゲマスガ、群馬縣民テ久シク栃木縣下ニ居テ運動ニ與ッテ働イテ居リマス、左部彦次郎ト云フモノガアル、此左部ト云フモノハ相當ナ中學程度以上ノ學問ヲシタ男デアツテ、世才ノアル男デアリマスガ、是ガ始メニハ村民ヲ助ケテ、此ノ如ク不正ニハ服従スベカラズト言ウテ居ッタガ、其人物ノ居ル間ハ此ノ如キ表ト裏ト違フトコロノ仕事ヲ遂ゲルノハ困難デアルト一部ノ當事者ガ考ヘタト見エテ、之ヲ縣ノ土木ノ役人ニシタデアツタ、此憐ムベキカ將タ憎ムベキカ、奇怪ノ人物ハ始メハ斯ノ如ク運動ヲ助ケテ居ッタガ、縣ノ役人トナツタ、是ガ脅迫者ノ弱點デアツテ、村民ヲ唯今誘惑シツ、是等ノモノガ此ノ如キ原因デアツテ、此ノ如キ誘惑ヲ爲シ、此ノ如キ脅迫ヲ爲ス所ノ證據ガアル、是ハ瘡ヲモ枯レテモ役人ノ一人デアリマスカラ、此證據ヲ打明ケタナラバ、役人ノ腐敗亂暴ト評セネバナラス、其證據タルベキ文章ヲ見マスルト村民ノ状態ガ極メテ氣ノ毒ニ堪ヘヌデアリマスカラ、之ヲ讀ムコトハ致シマセヌテ、唯國民ニ此事情ヲ示サンガタメニ議長ニ請ウテ之ヲ速記録ニ證據トシテ載セヤウト思フ、モウ一ツ驚クベキコトガアル、是ハ水野常二郎ト云フモノデアアルガ、自分ガ田畝ノ間ニ働イテ傷ヲ受ケテ身體ノ是ガ故障ニナツテ、ソコテ習覺エテ按摩ヲ業トシテ居ルモノガアルガ、是ハ按摩トシテ出稼ヲシタデアアルガ、許可ヲ得ズシテ醫者ノ所業ヲナシタモノデアルト云フノテ、拘引ヲ致シマシタ、許可ヲ得ズシテ此ノ如キ業ヲヤル者ハ、二百五十圓以上五百圓以下ノ罰金ヲ科セラレルガ、ドウデアアルカト云ツテ、之ヲ五時間警察署ニ留置イタ、其場所モ明示シ得ルデアアル、隣村ノ部屋警察署ノ檻房ニ之ヲ入レマシテ、サウシテ其時ニ警察官ガ自ラ言ツタノガ面白イ、若シ土地ヲ賣ルト云フコトニ付イテ承諾書ヲ出スナラバ此罪ヲ許シテヤルト言ツタト云フコトニ至ッテハ、其内情ガ能ク分ルデアリマシテ、一方ハ罪ナラザルニ愚カナルニ乘ジテ罪トシ、一方ハ其罪ヲ許スト云フノヲ簡條トシテ地面ヲ賣ルトコロノ承諾書ヲ出スト云フコトニナツタデアリマス、是ハ唯今名譽アリ竝ニ信用アルトコロノ承諾書ヲ出スト云フコトニ飯田宏作君ノ手ニ此證據物ガ舉テ居リマシテ、サウシテ不日法廷ノ争トナル次第デアアル、唯此一例ヲ見テモ如何ニ不法ナル手段ヲ以テ此現在存立シテ居ルトコロノ村ヲ破壊シヤウカ、殘害シヤウカト云フトコロノ官吏ノ横暴實ニ驚クベキト云フコトガ分ルデアリマセウ、是ハ私ハ飯田宏作君ノ力ニ依ッテ斯ノ如キ事件ハ遠カラズ世ノ中公ニ發表セラル、デアラウト云フコトヲ其人人格ヲ信シテ私ハ疑ハヌデアリマスルカラ、本員ハ是ニ向ッテ證據物ヲ公ニスルコトヲセシメテ、飯田君ガ公ニセラル、時機ニ讓リマスガ、本

員が得たトコロノ證明書ハ此處ニゴザイマスノデ、ソレニ依ッテ見テモ如何ニ此人民が官吏ニ苦メラレテ居ルカト云フコトが證明セラル、デアラウト思フ、一方ニハ本員が終リニ申シマシタ所ノ此安生順四郎ノ私債ニ向ッテ、政府ノ官吏が自分ノ手ヲ下シテ、サウシテ

村ノ負債ノ如ク取扱ッテ國費縣費ヲ合セタル四十八萬圓ノ中カラ七萬五千圓ヲ拂ッテヤッタト云フコトニ付イテ、是ハ村ノ負擔アルトセラレ、其村ハ其負擔ニ苦ンダ結果數年ノ間事務が擧ラナクタメニ、郡役所ノ方カラ村役人ノ代理トシテ村役場へ政府ノ

官吏が手先トナリテ、此買收ヲ強ニルニト云フ有様デ、安生順四郎ノ負債ヲ村ノ負債ニシテシマツテ、斯ノ如キ負債ノアル村デアラカラ、之ヲ賣ッテ金ニシタ方ガ宜カラウト云フコトデ、安生順四郎ヲ助ケンガタメニ一方ニ憐レナル人民ヲ壓迫シテ、斯ノ如ク私ノ負債

ヲ公ノ負債ニシメト云フ手續ニ向ッテ、茲ニ訟訴ガ起ッテ居ル、即チ訟訴願ガ起ッテ居ルノデ、此訟願ガ適當ナ順序ヲ經テ必ズ世ノ中ニ知ラレル時機ガアラウト思フ、此訟願書ヲ讀ミマシレバ其手續ハ明白デアリマスケレドモ、會期モ切迫シタル今日ニ於テ、此長キ訴

狀ヲ讀ムト云フコトハ、此議會ニ對シテ甚ダ恐縮ニ堪ヘマセヌカラシテ、是亦讀シタルモノ、如ク議長ニ願ッテ速記録ノ仕舞ノ方ニ載セテ、斯ノ如キコトガ全國ニ行ハレントシテ、其端緒ヲ栃木縣ノ一部ニ開カレテ居ルト云フコトヲ普ク天下ノ人ニ告ゲテ、國民ノ反省ト

議會ノ奮起ヲ促シ、又内務大臣ハ是ニ向ッテ適當ナル辯明ヲ與ヘラレントヲ望ムガタメニ此質問書ヲ提出シタノデアリマス

○谷澤龍藏君 決算委員會ノ總會ヲ開キタウゴザイマスカラ、ドウゾ許可ヲ請ヒマス
○議長(杉田定一君) 是ヨリ決算委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス
○谷澤龍藏君 許可セラレマシタ以上ハ、決算委員諸君ハ決算委員會室ニ御集リヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 報告ガアリマス
〔書記朗讀〕
一政府ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案
右議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要請候也
明治四十年三月二十一日

衆議院議長杉田定一殿
○長谷場純孝君 唯今政府ヨリノ要求ハ議院法ノ二十八條ニ依ッテ緊急ニ公共團體體云々ノ法律案ヲ議決シテ吳レト云フ要求ト思ヒマス、併ナカラ此案ハ既ニ特別委員會ニ附シテアルノデアリマスカラ、今日委員會ヲ開キ速ニ審査ヲ遂ゲラレテ、明後日ノ

本會議ニ付シテ決議スルヤウニ致シタイト云フ動議ヲ提出致シマス
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ緊急動議ノ如ク公共團體課稅法案ハ目下審査中デアルニ依ッテ、此審査ヲ本日中ニ結了セシメテ、明後日ノ本會ニ於テ議決スルヤウニ致シタイト云フ、長谷場君ノ緊急動議ニ御異議アリマセヌカ

○荒川五郎君 異議ガアリマス、是ハ不肖委員長ニ推サレマシテゴザイマスガ、段々委員ノ人カラ相談ガゴザイマシテ、明後日ノ午前十時ニ開クカラト云フコトヲ書記官ニモ御話ヲ致シ、委員ノ人ニモ御話シテゴザイマスカラ、明後日ノ午前二委員會ヲ開イテ、サウシテ進捗ヲスルヤウニ御取極メヲ願上ゲマス、是ハ委員ヲ申合セニナツテ居ルコトデアリマスカラ、此段請求ヲ致シマス

○長谷場純孝君 ヲレハ異議デハナイト思ヒマス、議院法第二十八條ニ「政府ヨリ提出シタル議案ハ委員會ノ審査ヲ經スシテ之ヲ議決スルコトヲ得ス但シ緊急ノ場合ニ於テ政府ノ要求ニ依ルモノハ此ノ限リニ在ラス」ト云フ明文ガアル、即チ唯今總理大臣カラノ請求ハ此二十八條ノ但書ニ依ッテ請求シテ、即決シテ吳レト云フコトデアラウト思ヒマス、ケレドモ既ニ委員ニ附託シテアル唯今委員長カラ述ベラレタコトモアルカラ、之ヲ折衷シテ今日中ニ委員會ヲ御開キニナツテ、御決定ノ上正式ニ明後日ノ議事日程ニ上セテ討論審議ヲ盡シテ可決スルガ相當デアラウト云フノデ、此動議ヲ提出シタノデアリマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○荒川五郎君 委員會ハ唯今ヨリ開キマシテモ、本日ノ議場ニ報告ガ出來ルヤ否ヤハ分リマセヌ、サウスルト明後日ノ午後ニモナルコトデアリマスシ、既ニ委員ノ人ニモ話合シテ極メタコトデアリマスルカラ、明後日ノ午前二委員會ヲ開イテ相當デアルト考ヘマシ

ル、殊ニ唯今急ニ議決ヲ總理大臣カラ申出ニナリマシテゴザイマスケレドモ、併シソレハ今委員ニ掛ケテアル間ノコトデアリマスカラ、從ッテ委員ハ其考ヲ以テ人々ノ研究ヲ致シテ居ルコトデアリマス、ソレガタメニ委員カラモ申出ガアツタ次第デアリマスカラ、今長谷場君ノ御請求モアリマスルガ、長谷場君モ明後日ノ午前マテ御待下スツテ、サウシテ明後日ノ午前カラ審議ニ掛ルコトニ御同意ヲ願ヒタイ、且是ハ委員會ニ於テサウ申合ハセヌノデアリマスカラ、ソレヲドウカ……

○長谷場純孝君 私ノ知ルトコロニ於テハ委員會中ニ此ノ如キ御申合セガナイト云フコトヲ確聞シテ居ル、今日此議會ノ切迫シタコロデアラカラ此ノ如キ緊急ナモノハ、早ク決スルガ宜シト云フコトヲ言ツタト云フコトヲ、私ハ直接ニ四名ノ委員カラ其事ヲ聞イテ居ル、今御申合ニナツテ居ルト云フ御話ハ、委員長ト一二人ト御申合セニナツタノハ卒サ知ラズ、委員會中ノ御申合セデナイト云フコトハ私ハ信ジテ居リマス、現ニ此處ニ石井君森君モ居リマス、ソレデ彼是サウ云フ議論ガ起リマス、規則ニ依ッテ其要求ヲ容レテ即決シテモ差支ハナイガ、サウ云フコトヲシナイデ穩ニシタイ、折角委員ニ附シテアルモノデアラカラ、今日委員會ヲ御開キニナツテ明後日ノ議事日程ニ御上セニナル方ガ穩

○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ緊急動議ノ如ク公共團體課稅法案ハ目下審査中デアルニ依ッテ、此審査ヲ本日中ニ結了セシメテ、明後日ノ本會ニ於テ議決スルヤウニ致シタイト云フ、長谷場君ノ緊急動議ニ御異議アリマセヌカ

○荒川五郎君 異議ガアリマス、是ハ不肖委員長ニ推サレマシテゴザイマスガ、段々委員ノ人カラ相談ガゴザイマシテ、明後日ノ午前十時ニ開クカラト云フコトヲ書記官ニモ御話ヲ致シ、委員ノ人ニモ御話シテゴザイマスカラ、明後日ノ午前二委員會ヲ開イテ、サウシテ進捗ヲスルヤウニ御取極メヲ願上ゲマス、是ハ委員ヲ申合セニナツテ居ルコトデアリマスカラ、此段請求ヲ致シマス

○長谷場純孝君 ヲレハ異議デハナイト思ヒマス、議院法第二十八條ニ「政府ヨリ提出シタル議案ハ委員會ノ審査ヲ經スシテ之ヲ議決スルコトヲ得ス但シ緊急ノ場合ニ於テ政府ノ要求ニ依ルモノハ此ノ限リニ在ラス」ト云フ明文ガアル、即チ唯今總理大臣カラノ請求ハ此二十八條ノ但書ニ依ッテ請求シテ、即決シテ吳レト云フコトデアラウト思ヒマス、ケレドモ既ニ委員ニ附託シテアル唯今委員長カラ述ベラレタコトモアルカラ、之ヲ折衷シテ今日中ニ委員會ヲ御開キニナツテ、御決定ノ上正式ニ明後日ノ議事日程ニ上セテ討論審議ヲ盡シテ可決スルガ相當デアラウト云フノデ、此動議ヲ提出シタノデアリマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○荒川五郎君 委員會ハ唯今ヨリ開キマシテモ、本日ノ議場ニ報告ガ出來ルヤ否ヤハ分リマセヌ、サウスルト明後日ノ午後ニモナルコトデアリマスシ、既ニ委員ノ人ニモ話合シテ極メタコトデアリマスルカラ、明後日ノ午前二委員會ヲ開イテ相當デアルト考ヘマシ

ル、殊ニ唯今急ニ議決ヲ總理大臣カラ申出ニナリマシテゴザイマスケレドモ、併シソレハ今委員ニ掛ケテアル間ノコトデアリマスカラ、從ッテ委員ハ其考ヲ以テ人々ノ研究ヲ致シテ居ルコトデアリマス、ソレガタメニ委員カラモ申出ガアツタ次第デアリマスカラ、今長谷場君ノ御請求モアリマスルガ、長谷場君モ明後日ノ午前マテ御待下スツテ、サウシテ明後日ノ午前カラ審議ニ掛ルコトニ御同意ヲ願ヒタイ、且是ハ委員會ニ於テサウ申合ハセヌノデアリマスカラ、ソレヲドウカ……

○長谷場純孝君 私ノ知ルトコロニ於テハ委員會中ニ此ノ如キ御申合セガナイト云フコトヲ確聞シテ居ル、今日此議會ノ切迫シタコロデアラカラ此ノ如キ緊急ナモノハ、早ク決スルガ宜シト云フコトヲ言ツタト云フコトヲ、私ハ直接ニ四名ノ委員カラ其事ヲ聞イテ居ル、今御申合ニナツテ居ルト云フ御話ハ、委員長ト一二人ト御申合セニナツタノハ卒サ知ラズ、委員會中ノ御申合セデナイト云フコトハ私ハ信ジテ居リマス、現ニ此處ニ石井君森君モ居リマス、ソレデ彼是サウ云フ議論ガ起リマス、規則ニ依ッテ其要求ヲ容レテ即決シテモ差支ハナイガ、サウ云フコトヲシナイデ穩ニシタイ、折角委員ニ附シテアルモノデアラカラ、今日委員會ヲ御開キニナツテ明後日ノ議事日程ニ御上セニナル方ガ穩

當テアルト私ハ考ヘル

○荒川五郎君 即決ト言ハレマスガ、ソレハ委員會ニ掛ケラレナイ時分ニハ即決モ宜シトシテモ、今委員ニ掛ケラレテ居ルノデアル、ソレカラ委員ノ森君ニモ井上君ニモ明後日ノ午前十時ニ願フト云フコトヲ申シテアルノデアル、ソレヲ一個人ノ意見トシテ聞ク開カヌハ會議ヲ開イテノ上デゴザイマセヌカラ分リマセヌ、ソレハ惡ルイト言ハレルカモ知レマセヌガ、本員ハ確ニ森君ニモ井上君ニモ其事ハ通シ、他ノ人ニモ通シテアルノデゴザイマス

○大津淳一郎君 私モ委員デゴザイマセヌガ、今長谷場君ノ御説ハ政府ガ議院法ニ據テ要求シテ來ラレテアルノデアルカラ——ソレハ政府ノ要求ヲ容レナケレハナラヌト云フコトハゴザイマセヌケレドモ、政府モ急グト云フコトデゴザイマセヌカラ急グノハ宜シカラウト思ヒマス、又今日直グ開クト云フコトモ是モ宜シト思ヒマス、併ナガラ今日中ニ決セヨト云フコトハ少シ困難デハアルマイカ、委員モ今揃テ居ルカドウカ分ラヌ、揃テ居レバ縱令御申合セガアツテモ今日開イテ差支ナイト思ヒマスガ、今日中ニ報告ヲセヨト云フコトハムツカシカラウト思ヒマス、今日開イテ急イテ審査ノ了ラ圖レト云フコトニナサレテハ如何デゴザイマセヌカ、無論明後日アタリハ何トカ御報告ガ出來ヤウト思ヒマス

○石井信君 私モ委員ノ一人デアリマスガ、今荒川君ノ云フコトハ申合セト云フコトデアリマスガ、私モ森君モ唯今ドウカ今日開カウチアナイカト云フコトヲ話シマシタケケデアツテ、明後日ト云フコトヲ荒川君ガ言フケレドモ、明後日ト言ハズ今日開イテハドウダト云フコトヲ、荒川君ニ相談シタノデアリマス、明後日ニスルト云フ打合せヲシタノデアリマセヌカラ、チヨット申上ゲテ置キマス

○荒川五郎君 モウ一言申シテ置キマス、委員會ノ日ハ委員長ニ御任セ下サイト言フテ、委員長カラ極メテ明後日ト云フコトニ致シマシタ、明後日ノ午前ニ致シタイト云フコトハ好意ヲ以テ申上ゲタノデアリマス、委員長トシテ別ニ專斷ヲ致シ無理ヲ致シタ譯デアハゴザイマセヌカラ、此段議場ニ表明シテ置キマス

○議長(杉田定一君) 只今長谷場君ノ緊急動議ヲ採決セントスル際ニ御異議ハナイカト云フコトヲ申シタトコロガ、荒川君ガ異議アリト言ハレタノデアリマス、ソコデ異議アル以上ハ長谷場君ノ動議ヲ起立ニ依テ採決スルヨリ外ハナイノデアリマス、長谷場君ノ緊急動議ハ公共團體課税ノ制限ニ關スル法律案ハ、目下審査中デアリマスノヲ、今日審査ヲ了セシメテ、明後日ノ議事日程ニ載セルコトニスル、斯ウ云フ緊急動議デアリマス

(「ソレハ無理デ」ト呼フ者アリ)

○長谷場純孝君 兔ニ角今日テ審査ノ了了カ出來タナラバ、明日モアル、明後日ノ議事日程ニ載セルダケノコトハ、議會切迫ノ今日デアルカラ、ソレヲ取計ラテ貫ヒタイト云フノデアリマス、明後日ノ日程ニ上セルト云フノガ目的デアリマス

○議長(杉田定一君) 明後日ノ日程ニ差支ナイヤウニ審査セシムルト云フ緊急動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」トナラ初メカラ異議ハナイ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○長谷場純孝君 モウ一ツ私ハ茲ニ動議ヲ出シマス、先刻御報告ニナツタ國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案政府提出、及右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉、之ヲドウカ議長カラ直チニ九名ノ委員ヲ選舉サレテ、是モ同ク明後日ノ開會マデニ本案ヲ議決セラル、ヤウニ委員會ヲ開キ速ニ了了セラレンコトヲ私ハ動議ヲ提出シマス

(「贊成ヤ々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 長谷場君發議ノ通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——日程第一、藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案第一讀會、議案ハ浩濬デアリマスデ、朗讀ハ省略シマス

第一 藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府 第一讀會)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案

第十五條ノ二 藥劑師ハ正當ノ事故ナクシテ指定藥品ノ販賣ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十六條及第二十七條第一項中「販賣者」ハ「授與」ヲ「製造、貯藏、陳列、販賣又ハ授與」ニ改メ左ノ但書ヲ加フ
但命令ニ別段ノ規定アル場合ハ此限ニ在ラス

第二十七條第二項ヲ削ル

第三十二條ノ二 第三十七條ノ三ニ掲グル藥種商ニ使用セラルル藥劑師ハ指定藥品ノ容器又ハ包紙ニ藥局方ノ所定ニ適合スルコトノ證明ヲ記シ之ニ自己ノ住所氏名ヲ附記スヘシ

第三十七條ノ二 藥劑師ニ非サレハ指定藥品ヲ販賣又ハ授與スルコトヲ得ス但藥劑師藥種商製藥者間ニ在リテハ此限ニ在ラス

醫師カ第四十三條ニ依リ指定藥品ヲ販賣授與スルハ前項ノ限ニ在ラス
第三十七條ノ三 命令ノ定ムル所ニ從ヒ藥劑師ヲ使用スル藥種商ハ指定藥品ヲ販賣又ハ授與スルコトヲ得但第三十二條ノ二ニ依リ其藥品ノ容器又

ハ包紙ニ藥劑師ノ證明アルモノニ限ル
第三十七條ノ四 土地ノ狀況ニ依リ地方長官ハ期間及營業所所在地ヲ定メ
藥種商ニ指定藥品ノ販賣授與ヲ許可スルコトヲ得但其藥品ハ藥劑師又ハ
前條ノ藥種商ヨリ得タルコトノ證明アルモノニ限ル
第三十七條ノ五 第十五條ノ二ノ規定ハ前二條ニ掲グル藥種商ニ之ヲ準用
ス

第三十八條ノ二 何レノ藥局方ニモ記載セサル藥品ニシテ衛生上危害ヲ生
スルノ虞アリト認メタルモノハ行政官廳ニ於テ其製造貯藏陳列販賣又
ハ授與ヲ禁止スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ藥品ノ所有者若クハ所持者ヲシテ之ヲ廢棄
セシメ又ハ直接ニ之ヲ廢棄シ其他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得但所有者
又ハ所持者ニ於テ衛生上危害ヲ生スルノ虞ナキ方法ニ依リ處置センコト
ヲ請フトキハ之ヲ許可スルコトヲ得

藥局方ノ所定ニ適合セサル藥品アルトキ亦前項ニ同シ
第三十八條ノ三 此規則ニ於テ指定藥品ト稱スルハ内務大臣ノ指定シタル
藥品ヲ謂フ
第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ四百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 藥品ノ容器又ハ包紙ニ虛偽ノ記入ヲ爲シタル者
二 第二十六條又ハ第二十七條ニ違背シタル者
三 第三十八條ノ二第一項ノ禁止ヲ犯シタル者

第三十九條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 藥劑師ノ免狀ヲ受ケス又ハ其業務ノ禁止停止ノ處分ニ違背シテ藥劑
師ノ業ヲ爲シタル者
二 第三十七條ノ二第一項第三十七條ノ三又ハ第三十七條ノ四ニ違背シ
タル者
第三十九條ノ三 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 藥劑師ニシテ第十四條第一項ニ違背シ又ハ誤リテ調劑ヲ爲シタル者
二 第十六條第十八條第二十二條第二十五條又ハ第三十條第一項ニ違背
シタル者
三 藥劑師ニシテ藥品ノ容器又ハ包紙ニ誤記ヲ爲シ又ハ事實ヲ知ラスニ
テ藥局方ノ所定ニ適合セサル藥品ヲ貯藏陳列販賣若クハ授與シタ
ル者

四 第三十七條ノ三ニ掲グル藥種商ニシテ事實ヲ知ラスニテ藥局方ノ所
定ニ適合セサル指定藥品ヲ貯藏陳列販賣又ハ授與シタル者
當該官吏若クハ行政官廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ者ノ尋問ニ對シ虛偽ノ
答辯ヲ爲シ又ハ其職務執行ヲ拒ミ若クハ之ヲ忌避シ若クハ之ニ支障ヲ加
ヘタル者ハ罰前項ニ同シ但其刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル
第三十九條ノ四 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 藥種商若クハ製藥者ノ免許ヲ受ケス又ハ業務ノ禁止若クハ停止ノ處
分ニ違背シテ藥種商又ハ製藥者ノ業ヲ爲シタル者
二 第三十八條ノ二第二項又ハ第三項ノ命ヲ受ケテ指定ノ期間内ニ之ヲ
履行セサル者
第四十條中第十四條第一項ヲ削ル
第四十一條中第十五條ノ下ニ第十五條ノ二「第三十七條ノ下ニ第三十七
條ノ五ヲ加ヘ」第二十一條第二十四條ヲ削ル
第四十一條ノ二 此規則又ハ此規則ニ基キテ發スル命令ニ違背シタル者ニ
ハ刑法ノ減輕再犯加重及數罪併發ノ例ヲ用井ス
第四十一條ノ三 營業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ此規則又ハ此
規則ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代
理人ニ適用ス但其業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付
テハ此限ニ在ラス

第四十一條ノ四 營業者ハ其代理人戸主家族同居者雇人其他ノ從業者ニ
シテ其業務ニ關シ此規則又ハ此規則ニ基キテ發スル命令ニ違背シタルト
キハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス
第四十二條ノ五 前三條ノ規定ハ醫師カ第四十三條ニ違背シタル場合ニ之
ヲ準用ス
第四十一條ノ六 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ此規則又ハ此規則
ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス
第四十一條ノ七 當該官吏又ハ行政官廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ者此規則
ノ執行ニ關シ不正ノ所爲アルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ四十圓以下
ノ罰金ヲ附加ス但其刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル
行政官廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ者此規則ノ執行ニ關シ人ノ囑託ヲ受ケ
賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十四條ノ例ニ照シテ
處斷ス

第四十六條中「醫科大學藥學科」ノ下ニ「官立公立醫學專門學校藥學科」ヲ
加フ
第四十六條ノ二 藥劑師其業務ニ關シ犯罪又ハ不正ノ所爲アルトキハ内務
大臣ハ中央衛生會ノ審議ヲ經テ其業務ヲ禁止シ又ハ停止スルコトヲ得藥
劑師ニシテ癡癩白痴ト爲リ其他其業務ヲ營ムニ堪ヘスト認メタルトキ亦
同シ
藥種商又ハ製藥者其業務ニ關シ犯罪又ハ不正ノ所爲アルトキハ地方長官
ハ其業務ヲ禁止シ又ハ停止スルコトヲ得
内務大臣ハ中央衛生會ノ審議ヲ經テ藥劑師ノ業務ノ禁止又ハ停止ヲ解ク
コトヲ得
地方長官ハ藥種商又ハ製藥者ノ業務ノ禁止又ハ停止ヲ解クコトヲ得
第四十六條ノ三 此規則中地方長官ニ屬スル職權ハ東京府ニ在リテハ警視

第四十六條ノ三 此規則中地方長官ニ屬スル職權ハ東京府ニ在リテハ警視

第四十六條ノ三 此規則中地方長官ニ屬スル職權ハ東京府ニ在リテハ警視

第四十六條ノ三 此規則中地方長官ニ屬スル職權ハ東京府ニ在リテハ警視

第四十六條ノ三 此規則中地方長官ニ屬スル職權ハ東京府ニ在リテハ警視

第四十六條ノ三 此規則中地方長官ニ屬スル職權ハ東京府ニ在リテハ警視

第四十六條ノ四 此規則中醫師ニ關スル規定ハ齒科醫師及獸醫ニ之ヲ適用ス

附則

本法ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス 免許ヲ得テ五箇年以上ノ藥種商ト爲リ本法施行ノ際現ニ其業ヲ營ム者ハ法人

ヲ除クノ外本法施行後ト雖指定藥品ヲ販賣又ハ授與スルコトヲ得但本法施行後六箇月以内ニ地方長官ニ其旨ヲ届出テタル者ニ限ル

第十五條ノ二及第三十九條ノ三第一項第四號ノ規定ハ前項但書ノ届出ヲ爲シタル藥種商ニ之ヲ準用ス

第二項但書ノ届出ヲ爲シタル藥種商ニシテ正當ノ事故ナクシテ指定藥品ノ販賣ヲ拒ミタルモノハ罰第四十一條ニ同シ

第二項但書ノ届出ヲ爲シタル者ヲ除クノ外本法施行ノ際現ニ營業スル藥種商ニハ本法施行ノ日ヨリ三箇年ヲ限リ第二十七條ノ二ヲ適用セス

(政府委員窪田靜太郎君登壇) ○政府委員(窪田靜太郎君) 本案提出ノ理由ヲ一言致シマス、現行ノ藥品營業並ニ藥品取扱規則ハ明治二十二年ノ制定ニ係リテ居リマシテ、極メテ不備ナル點ガ多ク

テ、ソレデ近年不正ノ藥品不長ノ藥品ガ市場ニ横行スルコトガ甚シクテ、アリマスガ、法律ノ不備ナル點ニ其取締リガ出來ナイノデゴザイマス、其不備ナル一端ヲ申上ゲマスレバ、不正ノ藥品不長ノ知リ、之ヲ店頭若クハ藥局ニ陳列シテ居テモ、唯陳列シテ

居ルト云フノデハ罪ニナラヌト云フコトデアリマスカラ、藥品ノ巡視ヲ致シマシテモ、之ヲ押ヘルコトガ出來ナイノデ、又之ヲ廢棄サスルコトモ法律上出來ナイト云フコトデアリ

マス、或ハ又不良ノ藥品ヲ販賣致シマシテモ、不良ト云フコトヲ知ラナカッタト云フ口實ノ下ニ、容易ニ罪ヲ免カル、コトガ出來ル、狀況デアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

テ、自分ハ知ラナカッタト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

テ、自分ハ知ラナカッタト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

テ、自分ハ知ラナカッタト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

テ、自分ハ知ラナカッタト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

テ、自分ハ知ラナカッタト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

テ、自分ハ知ラナカッタト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

テ、自分ハ知ラナカッタト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又雇人ノ所爲デア

イマスカラ、宜シク御審議御協贊アラント希望致シマス

○久保伊一郎君 本法ノ改正ノ精神ハ、第三十七條ノ二ニ規定サレテ居リマスル通リ、藥劑師ニアラズシテ指定藥品ノ販賣又ハ授與スルコトヲ得ズ、詰リ藥劑師アテケレ

ハ指定藥品ヲ販賣讀與テ許サヌト云フコトニテ居リマシテ、(委員會テヤリ給ヘ)ト呼

フ者アリ)而シテ附則ニ於テハ、五年以上ノ藥種商トナツテ居ルモノハ、本法施行後ト雖モ

販賣讀與テ許ス、ソレカラ尙其異ニ於テ、本法施行ノ際現ニ營業スル藥種商ニハ、本

法施行ノ日ヨリ三箇年ニ限リ、二十七條ノ二ヲ適用セズト云フコトニテ居ル、所

凡ソ法律ハ將來ノコトヲ規定スルノデアリマシテ、過去ニ遡ルコトノ出來ヌハ、即チ法

律ノ原則デアリマスガ、此現ニ營業ヲ致シテ居リマスル者、三箇年間ハ藥劑師テナク

トモ、販賣讀與テ認メルト云フコトニナリマスルノニ、其前ノ五年以上ノ藥種商アテケレ

バ、一切許サナイト云フコトノ規定ヲ置イテ、サウシテ其五年間ノ經歷ヲ經ルマデノ藥種

商ハ禁止スルコト云フコトニ至リマシテハ、聊カ所謂營業權ヲ侵害スルコト云フコトノ眞ガア

リハセヌカト思フノデアリマス、尤モ是ハ衛生上ニ重大ノ關係ヲ以テマスル事柄デアリマス

ルカラ、相當ノ年限ヲ經過シタルモノテナケレバ、適當ナル藥品ヲ調劑スルコトガ出來ヌト云

フ趣意カラ、五年以上ト云フコトヲ規定サレタノデアリマセウガ、併ナガラ五箇年以内ト

雖モ又相當ノ經驗ヨリ、既ニ數年以前ニ藥種商ヲ致シテ居テ、廢業シテ、而シテ尙開

業後五箇年ニ充タナイモノガアルカモ分ラヌノデアリマス、唯此經驗ノ如何ト云フコトヲ、

年限ノ長短ニ依テ區分シ、而シテ營業權ヲ侵害スルコト云フコトハ、聊カ立法部トシテ

避ケタイト思ヒマスルカラ、是非斯ウシナケレバナラヌト云フコトヲ、深イ理由ガアルナラ

バ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

(政府委員窪田靜太郎君登壇)

○政府委員(窪田靜太郎君) 唯今ノ御尋ハ、五年以上ノ營業者ニ限リ、未長ク

指定藥品ノ販賣ヲ許スト云フコトニシテ、ドウカト云フコトガ先ツ要點ト思ヒマスカ

ラ、ソレハ此先刻申上ゲマシタヤウニ、貴重ナル藥品ニ付キマシテハ、所謂精粗眞贋ヲ

甄別シテ、サウシテ其責任ヲ、知ラナカッタト云フコトハ申サナイト云フコトニ致スコトガ

必要ナラ、ソレニハ其精粗眞贋ヲ甄別スルコトノ學問、即チ藥學ヲシタモノニ取扱ハ

シメルト云フコトガ、最モ宜イ必要ナラ、ソレヲ原則トスル、併ナガラ法律ノ

本文ニ於キマシテハ、尙藥劑師ヲ雇入レルモノデアルトカ、或ハ土地ノ狀況ニ依テ、極

メテ偏僻デアル地デ、藥劑師ヲ得難イト云フ土地ニ付キマシテハ、例外ヲ設ケルト云フコ

定藥品ノ販賣ト云フコトヲ好マナイト云フモノニ付キマシテハ、此現在ノ通りテ二箇年ノ間ハ何等ノ差支ナク營業ヲシテ宜シト云フコトノ餘裕ヲ與ヘルヲメニ、一般ニ二箇年ト云フコトハ、指定藥品ニ關スル條項ハ適用シナイト云フコトニシマシテ、是ハ藥品取締上トウシテモ先刻申シタヤウナ改正ヲ要スルノデアリマスルカラシテ、此法施行ノ際ハ成ルベク迷惑セシメナイヤウニ注意ヲ取リマスル、ケレドモソレハ取締上已ムヲ得ナイ次第デゴザイマス、敢テ是ニ依テ法律ヲ以テ制定致シマスルニ於キマシテ、營業權ヲドウトカ云フコトハ問題ニナラヌヤウニ思フテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 別ニ御質問ハナイヤウデアリマスルデ、次ノ日程ニ移リマス、日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○長谷場純孝君 議長指名、委員九名……

○議長(杉田定一君) 議長指名ノ委員九名ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス——日程第三、日本勸業銀行法中改正法律案、第一讀會——議案朗讀

第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

〔書記朗讀〕

日本勸業銀行法中改正法律案

第三十五條中「二十圓」ヲ「十圓」ニ改ム

第三十八條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ六箇月毎ニ複利ノ計算ヲ爲シ一定ノ年數毎ニ之ヲ仕拂フコトヲ得

○長谷場純孝君 日程第三、第五、第七ハドウカ一括シテ同一委員ニ付託スルガ便利ト思ヒマスカラ、ドウカ政府モ二案ヲ同時ニ説明アラシコトヲ希望致シマス

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 此三案ヲ一括シテ説明致シタイト考ヘマスガ、勸業銀行法中改正法律案ト申シマスルノハ、現行二十圓ノ勸業債券ヲ十圓ニ改メタイト云フノデゴザイマス、尙利子ノ仕拂ヲ便利ニ致シマスヲメニ多少改正ヲ加ヘタイ、是ハ御承知ノ通りニ戰爭中ニ貯蓄債券ヲ發行致シマシタノデゴザイマシテ、其高ハ二千萬圓ニ達シテ居リマスノデ、然ルニ貯蓄債券ノ方ハ平和克復後一箇年ヲ廢メルト云フコトニナラデ居リマスカラ、即チ昨年限り發行致シマセヌノデ、サウナリマスルト云フト、今マデ五圓ノ債券ヲ發行シテ居ッタノデ、直チニ此二十圓ノ債券ヲ發行スルト云フコトハ、少シク困難ノ事情ガアリマスカラ、額面ヲ十圓ニ下ゲテ民間ニ於ケル零碎ノ資金ヲ吸收シタイト云フ、斯ウ云フ譯デゴザイマス、ソレカラシテ農工銀行、拓殖銀行ノ改正ハ共ニ一ツコトデゴザイマス、ソレハ今日ノトコロハ無限責任ノ産業組合ニ貸付ヲ致シテ居リ

マスルノヲ有限責任並ニ保證責任ノ産業組合ニモ貸付ラシテ、産業組合ノ發達ニ便宜ヲ與ヘタイト云フ越意デゴザイマス、何レモ簡單ノ法律案デゴザイマスカラ、成ルベク速ニ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、唯今日日程第三ヲ議題ニナラデ居リマス、併シ説明ハ第三ト第五、第七ト三案併セテ當局者ノ説明ニナラデ居リマスル、ガ、就イテハ便宜上此第三ヨリ第八マデヲ一括シテ議題トスルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

第四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第五 農工銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

農工銀行法中改正法律案

第七條ノ二中「産業組合法ニヨリ設立シタル無限責任ノ信用組合購買組合及生産組合」ヲ「産業組合」ニ改ム

第六 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第七 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案

第八條第三項中「産業組合法ニ依リ設立シタル無限責任ノ信用組合、販賣組合購買組合及生産組合」ヲ「産業組合」ニ改ム

第八 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、三案ニ就イテ御質義ガアルナラバ御質義ヲ此際ナサルガ宜シカラウト思ヒマス

〔ナシナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 別段御質義ガアリマセヌカ

〔ナイナイ〕ト呼フ者アリ

○長谷場純孝君 サウシマス即チ議事日程ノ第四第六第八、此委員ノ選舉ハ議長指名ノ九名ノ委員、サウシテ一括シテ同一委員ニ此三案ハ付託スルコトニ……

○議長(杉田定一君) 長谷場君發議ノ通り、日程第四第六第八此三案ノ委員ハ議長指名ノ九名ノ委員、即チ此一括シテ同一委員ニ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○根本正君 此場合ニ緊急動議ヲ起シマシテ日程ヲ變更シテ、此市町村立小學校ニ關係スル委員會ノ報告ヲ致シタイ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、根本君

(根本正君登壇)

○根本正君 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、此委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、此法案ハ小學校教員ヲシテ是マデノ恩給ヨリモ冷遇デナク厚クスルト云フトコロノ法案デアリマス、是マデハ十五年以上勤メマシタ者ハ此退隱料ガ二百四十分ノ一ツ、年々増シテ、四十年ニ至テ止シテ、サウシテ極ク多イトキデモ二百四十分ノ八十五極點ト爲シテ譯デアリマス、此法案ニ依リマシテ段々宜クナルコトニナツテ、十五年以上二十年マデハ二百四十分ノ二、即チ從來ノコトニ較ベマスト云フト増シテ、其後五年毎ニ二百四十分ノ一ツ、加算シ二百四十分ノ六ヲ加算スルニ至テ止ムコトデアリマス、ソレ故ニ此四十年ニナリマスルト云フト二百四十分ノ百六十ト云フモノヲ得ル譯ニナツテ、殆ド是マデノ倍ニナル譯デアリマス、又其外此外厚ク取扱フヤウニナルト云フトハ、是マデ小學校教員ト云フモノハ、例ヘバ從軍シマスト云フト、ソレマデニナツテ即チ恩給ト云フモノモ貰フコトガ出來ナイヤウデアリマシタ、ソレハヤハリ外ノ役人ト同シヤウニ從軍スルヤウナ場合ニハ、例ヘバ村長ニナラウガ、或ハ其他ノ議員ニナラウガ、ヤハリ恩給モ貰ウヤウナコトニナルト云フトノ宜イ法律案デアリマス、其他遺族ニ關係スルトコロノ割合モ從テ多ウゴザイマス、此法案ハ原案通デアリマスガ、茲ニ此別表ト云フ表ガアリマス、其表ガ十三行ニ分レテ居リマスルガ、其中此三行メケ修正ニナリマシタ、其修正ニナツタ箇條ハ二十五圓以上三十圓マデト云フトコロガ、此ハ十一ト云フノヲ八十四ニ増シ、又其上ノ三十圓、二十五圓未滿ト云フノガ九十トナツテ居ラノヲ九十六ニ増シ、又其上ノ三十五圓以上四十圓未滿ト云フノガ此原案ニ依リマスルト、百五ト云フノガ百八トナツテ、即チ此三行ガ此比例ヲ以テ増加スル譯ニ致シマシタノデアリマス、此修正ヲ以テ滿場一致ヲ以テ委員會ハ可決致シマシタカラ、ドウカ諸君此法案ニ御贊成ニナツテ可決アラントラ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 根本君御尋致シマスガ、アナタノハ唯今ノハ報告ダケデアリマスルカ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 緊急動議トシテ日程ヲ變更シテ之ヲ會議ニ付スルト云フ、斯ク云フノデアリマスカ——是ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 問題ニナリマシタ

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料
法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○長谷場純孝君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔マダ一讀會ガ濟マヌ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ

二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○長谷場純孝君 二讀會ヲ省略シ、委員長ノ報告通り贊成シマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開イテ二讀會ヲ省略ラシテ、確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案 確定議

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定シマシタ

○栗原亮一君 此場合ニ於キマシテ追加豫算ノ報告ヲ致シタウゴザイマス

○荒川五郎君 先刻總理大臣カラ請求ニナリマシタ公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案ノ委員會ヲ、是ヨリ直チニ開キタウゴザイマス

○議長(杉田定一君) 公共團體課稅制限ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フ請求ガアリマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○荒川五郎君 委員諸君ハ第一委員室ニ御足勞ヲ願ヒマス

○大津淳一郎君 明治三十八年豫備金支出ノ件及臨時事件費支出ノ件、此承諾ヲ求ムル委員會ハ屢、開キマシタガ、如何センナカク、長イ議案デアリマスカラ、度々開イテモ未ダ盡キナイノデゴザイマス、大分政府ノ意向モ委員會デ聞キマスルト成ルベク早ク今日ニモヤツテ貫ヒタイ、貴族院ノ方ニ回テモ大分暇ガ取レルカラ是カラ開キタク思ヒマスガ、委員ノ諸君ニ是非御集リヲ願ヒタイ、議長ノ御注意モアリ、且御許可ヲ經タイ

○議長(杉田定一君) 明治三十八年豫備金支出ノ件及臨時事件費支出ノ件、此委員會ヲ是ヨリ開キタイト云フ御請求デ……

○大津淳一郎君 ソレカラ議長カラ委員ニ集マルヤウニ御注意ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス——栗原君

(栗原亮一君登壇)

○栗原亮一君 四十年度ノ追加豫算第二號、竝ニ特第二號、是ハ先刻諸君ノ御許ヲ得マシテ、今總會ヲ開キ、種々質問ヲ致シマシテ、唯今總會ニ於テ決定ヲ致シマシタノデアリマスカラ御報告ヲ申シマス、其歳出入ハ總額九十二萬餘デアリマスガ、其内歳出ノ重モノナルモノハ韓國森林經營費、是ハ前回、韓國森林特別會計法ガ本院ヲ

通過致シマシテ法律ノ結果デアリマスル、其資金ニ繰入ガ二十万圓デアリマス、ソレカラ金額ノ最モ大ナルノハ、遞信本省ガ火災ニ罹リマシテ、此假建築ノ追加豫算ハ、三十九年度ニハ八万圓餘追加シテデアリマスガ、是ハ本ノ假住居デアリマシテ、四十年、四十一年ノ二箇年繼續シテ、新築ニ着手致シタイト云フノテ、其總額ハ五十八万圓餘デアリマシテ、本年ノ年割ガ二十万、此追加豫算ニ於キマシテハ、遞信省ヲ初メ、其他今年三月栃木縣ノ裁判所ガ焼ケマシタ、ソレカラ仙臺ノ工業學校ノ校舍ニ充テル管デアリトコロノ中學校ガ、是モ一月火災ニ罹リマシテ、此復舊建築ヲシナケレバナラス、ソレカラ青森火林區署廳舎、是モ今年一月火災ニ罹リマシテ、其經費ガ六万九千圓餘デアリマス、エライ追加豫算ガアル、去年ハ丙午デアリマシテ、今年ハ丙午デナクテモ此通り火災ガアリマシテ、火事ノ追加豫算ガ四庫ホドモアリマス、ソレカラマア一ツハ東京市ノ市區改正ノタメニ、在來ノ電信、電話、或ハ此電力線ト云フモノガ、道ノ真中ニ電信柱ナドガ立ッテ居ッテ、甚ダ不便ヲ感ズル、東京市ニ於テ外債ヲ募集シマシテ、此市區改正ヲ取急イデアルト云フコトニナリ、是等ガ十四万餘、遞信省ヨリ之ヲ支出シ、之ヲ取除ケテ適當ノ場所ニ置換ヘルト云フコトデアリマス、ソレカラ遞信省ノ新築ハ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、随分大キナ金デアリマスカラ、是ハモウ建坪ニ付イテノ單價等、ソレト十分ニ質問ヲ致シマシテ、今日ノ場合テハ是ダケノ經費ハ已ムヲ得ヌモノデアラウト云フコトモ認メマシテ、結局是等ハ原案ノ通り可決スルヨリ致方ガアルマ、何分火事ノ多イコトデアリマスカラ、是カラ十分ニ火ノ用心ヲナサルヤウニ、其邊十分ニ注意ヲ與ヘマシタ、當局者モ十分用心シタカ此通り火事ガ起ラズ、今後ハ十分注意スルト云フコトデアリマス、ソレカラ特第二號ノ外ハ、是モヤハリ臺灣ニ於テ鹽專賣局ガ爆發シテ、是モ火事ガ起ラタデアリマス、是ハ復舊費十五万圓餘デアリマス、此韓國森林特別會計ノ方ハ、今申シタトコロノ法律ノ結果デアリマシテ、結局第二號、特第二號モ共ニ原案ノ通り可決スベキモノト決定致シマシタ、茲ニ之ヲ報告致シマシテ、併セテ此場合緊急議決アラントラ希望シマス、緊急動議ヲ提出致シマス

○議長(杉田定一君) 唯一委員長栗原君ノ發議ノ通、此際日程ヲ變更シ、追加豫算ヲ會議ニ附スルコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス

(第二號) 明治四十年年度歳入歳出總豫算追加案
(特第二號) 明治四十年年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
○長谷場純孝君 本員ハ此場合ニ於テ一ノ質問ヲ起シタイト思フ、即チ豫算ニ關スル他デモゴザイマセヌカ、帝國議院ハ即チ第一期議會ニ火災ニ罹リマシテ、此議院ハ假議事堂ト云フテモ宜イト思ヒマス、從ッテ年々修繕ヲスル、數十方圓ヲ要シツ、アルノデアアル、政府ニ於テモ本議院建築ノ計畫ガアルヤニ承ッテ居ル、此本議院ヲ建築スルニハ數十方圓ノ金ヲ要スルコトデアアルカラ、短日月ノ間ニ落成スルコトハムツカシイト思フ、故ニ本員ハ來年度ヨリ適當ノ方法ヲ設ケテ議會ニ提出セラレテ、議會ノ協賛ヲ經テ、サウシテ議事堂ノ建築ニ掛ラントラ希望スルデアリマスガ、本員ハ承ルトコロニ據

レバ、政府ハ來年度ヨリ其豫算ヲ提出サレル御胸算ガアルヤニ、承知シテ居ル、果シテ其御胸算ガアルヤ否ヤト云フコトヲ確メタイト思ヒマス、今日追加豫算ガ出タ場合デアリマスカラ、之ヲ一ツ政府ニ向ッテ質問シテ置キマス
(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)
○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 唯一長谷場君カラノ御質問ニ付イテ御答致シマス、此議院建築ノコトハ政府ニ於キマシテモ決シテ等閑ニ附シテ居ル譯デアリマセヌ、多年調査シテ居リマス、政府ノ考ハ既ニ今日モ追加豫算ハ遞信省ハ不幸火災ニ罹リマシタメ、急ニ新築ヲ致シマスルコトニ付キマシテ、御協賛ヲ求メテ居リマシタガ、他ノ諸官衙即チ大藏省、内務省、文部省、檢査院其他ノ諸官衙モ、既ニ三十年餘モ經タモノモアリマシヤウナコトデ、諸官衙及議院建築費ハ政府デモ調査致シテ居リマス、是ニハ成ルベク接近シタ場所ヲ選ビマシテ、便宜ニ建築致シマスルト、議會中ノ如キ餘程雙方ノ手數ヲ省キマス、餘程便宜ナリマセウト考ヘテ居リマス、凡ソ地所モ櫻田門外カラ唯今ノ内閣總理大臣官舎ノアリマス邊ヘ掛ケテ設計ノコトニナッテ居リマス、然ルニ戰爭等ノ起リマシタメ財源ガ缺乏致シマシテ、著手ト云フコトモ延ビテ居リマシタガ、尙議院建築ノ設計ノ上ニナリマシテモ、餘程調査ヲ要スルコトガアリマス、現在ノ設計ニ據リマス、總理大臣ノ官舎其他附近ノ家屋ニ餘程取拂ハタケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、是等ノコトニ付イテモ尙調査致シタイト云フヲ持ッテ居リマス、其故ニ次ノ豫算ニ限リマシテ、唯今カラ四十一年度ノ豫算ノ決定セヌノニ、御約束ト云フコトハ申兼ネマスガ、政府ハ成ルベク建築ノ方針ニ近寄ルガタメ少シ進メタイ、——多少少進メタイト云フヲ持ッテ居リマス、此段御答致シテ置キマス

○奥野市次郎君 チョット質問ヲ致シマス、チョット大藏大臣ニ質問ヲ致シタウゴザイヌガ、本員等ヨリ豫テ質問書ヲ提出シテゴザイマスノデ、機會ヲ以テ御答辯ヲ得タイト思ッテ居リマシタガ、唯今ハ幸ヒ追加豫算ノ議事ニ掛ッテ居ル際デアリマスカラ、大藏大臣モ御出席ニナッテ居リマスカラ、此際ヲ以テ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、前期議會ニ於テ院議ヲ以テ角力常設館國庫補助ニ關スル建議案ヲ提出ニナッテ居リマス、此事ハ本年度ノ豫算ニ計上セラル、コトデアラウト信ジテ居リマシタガ、本年ノ豫算ニハナカッタデアリマス、又追加豫算ニモ見當ラヌデアリマスガ、政府ハ彼ノ建議案ニ對シテ如何ナル處置ヲ取ラントセラ、ノデアリマスガ、ドウカ該建議案ニ對スル政府ノ御趣意ノアルトコロヲ御答辯ニ與リタイノデアリマス

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)
○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 唯一奥野君カラシテ角力常設館補助ノ建議ハ、政府ハ如何ニ考ヘルカト云フ御尋デス、是ハ唯今ノ議院ノ建築トハ餘程問題モ違ヒマシテ、金額モ極ク僅少ナモノデアリマスカラ、成ルベク建議ノ御趣意ニ依リマシテ、次ノ年度ニ於キマシテ相當ニ議決致シテ見タイト考ヘテ居リマス

○佐々木正藏君 此際委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、許可ヲ得タイト思ヒマス、此統監府及關東都府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外二件ノ委員會ヲ唯今ヨリ開キタウゴザイマスカラ、御許可ヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 佐々木君ノ請求ノ通り、委員會ヲ是ヨリ開クト云フコトニ御

答辯ニ與リタイノデアリマス

答辯ニ與リタイノデアリマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシイモノト認メマス、許可スルコトニ致シマス

○守屋此助君 私ハ此際今豫算委員長カラ報告ニナリテトコトニ付イテ遞信大臣ニ問ヒタイコトガアル、ソレハ遞信省ノ燒ケタト云フ事柄ハ、私ノ考デハ一面ニハ不幸アル、併ナガラ之ヲ能ク利用スレバ、國家ノタメニハ幸カ不幸カ分ラヌト云フコトヲ考ヘル、其譯ハドウ云フコトアルカト云フト、今ノ新橋ノ停車場ハ將來貨物ノ停車場トスルト云フノアル、所ガ今ノ新橋停車場ノ地面デハ倉庫ヲ建テル餘地モナイ、ソレカラ水運ヲ少シク利用スルコトガ出来ヌアル、是ラハ此間燒ケタ遞信省ノ地面ヲスツカリ停車場ニ使フコトニスレバ、倉庫ヲ建テ、水ノ便利モ利用スルコトガ出来ル、サウスルト人間ノ中央停車場ハ警視廳ノ近傍ニナルガ、荷物ノ中央停車場ハ新橋ニナル、サウスルト大ニ此働キガ出来テ、全國數百哩數千哩ノ鐵道ヲ利用スル上ニ於テ、當ニ新橋ノ貨物停車場ノ足掻キガ宜キモノナラズ、彼處ノ足掻キガ宜ケレバ數百哩ノ鐵道ノ利用ガ大ニ付ク、此點カラ往クト遞信省ノ敷地モ大ニ鐵道ニ使フコトガ出来ルト樂シク居ラ、然ルトコロ此度政府ガ出サレタ豫算ニ五十八萬圓ノ金ヲ使フノハ、唯今豫算委員ノ佐々木君カラ聞クト、依然ト元ノ遞信省ノ敷地ニ建テラレト云フコトニ傳聞キマシテゴザイマス、阪谷君ノ今言ハレタノデモ、役所ハ成ルベク總理大臣ノ官舎ノ附近ニ、帝國議會ナド一所ニ置クト、諸般ノ便利アルカラ、彼處ノ民家ヲ取拂ツテモ建テラレリト言ハレタノアル、彼處ニ今餘程地ガアル、早速遞信省ノ如キモノハ早く彼處ヘ御移リニナツテ、是迄アリシモノハ能ク利用シテ、鐵道ノ貨物停車場トシテ足掻キヲ取り、倉庫ヲ建テラレトノ出来ルコトニスルガ國家百年ノ計ノ得タモノアラウト思ヒマス、然ルニ計茲ニ出デスシテ、帝國議會ハ總理大臣ノ官舎附近ニアルニ拘ラズ、遞信省ハ遠キ新橋ノ端ニ置カレテ居ル必要ガ何處ニアルカ、ソレカラ遞信大臣トシテ帝國將來ノタメニ貨物停車場ニ彼ノ猫ノ額ノ如キ、今ノ新橋ヲ以テ貨物ノ十分足掻キガ付クト云フ御考アルカ、水運ノ方ハ少シモ支ヘヌ、新橋ヲ満足スルト云フ御考アルカ、此點ニ付イテ遞信大臣ノ御意見ヲ承リタウゴザイマス

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○島田三郎君 チョット此間ニ「ゼームスタウン」博覽會建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザ

イマス

○議長(杉田定一君) 「ゼームスタウン」博覽會建議案ノ委員會ヲ開キタウト云フ請求ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、許可スルコトニ致シマス——明治四十年度歳入歳出總豫算追加案、明治四十年度各特別會計歳入歳出總豫算追加案、此二ツヲ一括シテ議題ニ供シマス

〔委員長報告通りト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 別段御異議モナイヤウアリマスカラ採決ヲ致シマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、是ニテ兩案共確定ヲ致シマス、日程第九、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、委員長北村左吉君報告

第九 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長)

(請願委員長提出)

〔北村左吉君登壇〕

○北村左吉君 委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ一昨十九日委員會ヲ開キマシテ、政府委員ノ出席ヲ求メテ、而シテ審案ノ結果一ニ對スルハ多數ヲ以テ、本案ハ本會ニ於テ可決スベキモノト決定ヲ致シタノデアリマス、其贊否ノ大要ヲ述ベマスレバ、御承知ノ通り、青森地方裁判所ハ元々函館控訴院ノ管轄デアリマシタガ、去ル二十八年ニ於キマシテ之ヲ變更シテ、仙臺控訴院ノ(二十八年デアリマセヌカ)ト呼フ者アリ)管轄ニ變更致シタノデアリマス、其變更致シマシタル次第ハ、當時日露戰爭ノタメ船舶ヲ徵發セラレテ、爲ニ函館ト青森間ノ交通ニ不便ヲ來シタ、加フルニ露艦ノ屢々彼ノ邊ヲ出沒スルト云フ變モゴザイマス、其不便ヲ感シテ變更致シタモノデアルサウデアリマス、然ルニ平和克復ノ今日ニ於キマシテハ、以前ノ通り之ヲ復舊シタイト云フノ請願ガ出マシタ、其請願ノ出マシタル方面ハ青森市及弘前ノ兩市デアリマシテ、是等ノ市ハ同縣下ノ首領ト見ルベキ場所デアリマス、而モ同市ノ有力者ガ數百名此請願ヲ致シタ、尙且此縣下ノ多數ヨリ仙臺ニ往キマス、將又函館ニ往キマス、トトト、復活ヲシマスル方ガ大ニ其費用ヲ省キ、時間ヲ節スルコトガ出来ルト云フコトガ第一ノ理由、第二ハ青森ト函館ノ間ハ從前ヨリ商取引、其他頻繁ニ取引ガ行ハレマシタノデアリ、其著シキ證據ハ青森ヨリ函館ニ參リマスルコトノ船舶ニ於ケル貨物ノ噸數及人馬等、又同地ヨリ仙臺ニ對スルコトノ物貨、及人員等ヲ比較致シマスレバ非常ナル相違ガアツテ、却テ青森ヨリ仙臺ニ行ク方ガ非常ニ多イト云フ如キ著シキ證據ガアルノデアリマス、尤モ茲ニ注意致シマスルコトハ、二十八年ニ此變更ヲ致シマシテ、今日又之ヲ元ニ復活スルト云フコトハ、胡變專政ノ誹ハ免レマイト云フ點デアリマス、併ナガラ右

○議長(杉田定一君) 御答致シマス、唯今ノ御尋ハ至極御尤ナ御尋デアリマシテ、既ニ豫算委員會ニ於テモ此論ハアツタデアリマス、併ナガラ段々事情ヲ調ベテ見マシタトコロガ、遞信省ニ充テラシメテ適當ノ場所ガナイノデアリマス、唯今御示シニナタ箇所ハソレト、他ノ官廳ニ充テ、アリマシテ、彼處ヘ這ハ込ムコトハ出来ナイノデ、ソレデアリマシテ得ズ今日ノ位置ニ復舊スルコトニナツタデアリマス、ソレナラ貨物ノ取扱ノコトニ付キマシタハ、御承知ノ通り此鐵道國有法ニ依ツテ、段々日本鐵道ナドヲ買収シマシテ、サウシテ工場ノ整理ヲ一方ニ於テ致ス積リデアリマス、今ノ新橋ニ在ルトコロノ此工場ヲ整理シマスレバ、先ツ彼處デ貨物ノ取扱ハ十分出来ル積リデアリマス、今日ノトコロデアリマシタ得ズ遞信省ハ元ノ所ニ致スコトニシタデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○島田三郎君 チョット此間ニ「ゼームスタウン」博覽會建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザ

申上ケマスル如ク、地方人民ノ大部分ガ希望致シマスル、而モ其唱ヘルトコロニ致シマシテモ、大ニ據處ガアルノアル、元々是等ノ管轄ノコトハ、人民ノ多數ノ便否如何ニ依テ決スベキコトデアリマスカラ、區々タルコトヲ願ヒ、今日斷然此復舊ヲシテ與ヘル方ガ人民ニ満足ヲ與ヘ、人民ニ便利ヲ與ヘルコトデアラウト信スルノアル、デ以上ガ即チ贊成ノ大體ノ理由デアリマスル、是ニ對スル反對ノ理由ハ此變更致シタルハ決シテ戰爭ノタメナシ、前々ヨリ左様ナ希望ガアルノコト此際ニ其希望ヲ達シタマハアル、斯ウ云フコトデアリマス、テ尤モ政府ハ是ニ反對ヲ致スノデアリマス、テ政府ノ反對ヲ致スノハ、裁判所ト云フモノハ證人等ノ召喚ヲ要スル、此證人ト云フモノハ男女ヲ問ハズ、必ズヤ其命ニ依テ出頭センケレバナラナイモノデアリマスカラ、女子ト雖モ此召喚ニ應ゼンケレバナラヌ、テ女子ト云フモノ、多クハ航海ヲ嫌フト云フ事柄モアルカラ、ソレ故ニ今日之ヲ變更スルト云フコトノ必要ハ認メナイ、テ其上ニ北海道ノコトデアリマス、時ニ豫定通りノコトモムツカシイト云フ邊ヲ以テ理由トセラレタデアリマス、此段御報告ニ及ビマス

○望月長夫君 今ヨリ委員長ニ質問致シマス、唯今委員長ノ御報告ノ中ニ、裁判管轄ヲ變更スルコトハ、青森縣民多數ノ希望デアルト云フコトヲ御述ベナリマシタガ、私共ガ請願委員會テ承知致シマシタ點ニ依リマスルト云フト、是ハ青森市竝ニ弘前市ト云フ即チ商人ノ一部ノ請願デアテ、決シテ青森縣ノ市郡ヲ通ジテ請願デハナカッタト信シテ居リマスガ、唯今左様ニ御報告ナサリマシタノハ、特ニ青森縣ノ多數ノ請願デアルト云フコトヲ御調査ニ相成ッタノデゴザイマセウカ、此點一ツ伺ヒ置キタイ、ソレカラ今一點ハ請願ノ趣意ニ依リマスルト、二十八年ニ於ケル管轄ノ變更ハ當時戰役中デ、船舶ガ缺乏致シテ居リ、然ルニ今日ハ船舶ガ出來タカラ回復シタイト云フ、斯ウ云フ趣旨ガ請願書ニアッタト思ヒマスガ、全體裁判所ノ管轄ト云フモノハ、憲法第一十四條ニモ規定セラレテ居ル通り、即チ一定ノ裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權利ガ、憲法ニ於テ與ヘラレテ居ル、權利デアアルニ拘ラズ、船ガ一艘出來タト云ウテアツチテ往ク、船ガ一艘壞レタト云ツテ、コツチヘ持ッテ往クト云フコトデ移動ヲサレタナラバ、吾ミガ法律ニ定メラレテアル信シ得ベキ裁判官ノ裁判ヲ受ケベキ權利ガ、憲法上ニ與ヘラレテアルニ拘ラズ、朝ニ夕ニ此裁判ノ管轄ヲ變更サレテハ、終ニ確實ナル判決ヲ受ケルコトガ出來ナイヤウニナラウト思ヒマスガ、委員會ハヤハリ前ニ船舶ガナカッタ——其前ニ管轄變更ノ際ノ法律改正案ニハ決シテワシナコトハナカッタデアリマスガ、委員會ハ果シテ左様ナ前ノ管轄變更ハ船舶ガ不足デアッタカラデアルトカ、今ノ船舶ガ出來タカラト云フヤウナ理由ヲ御認メニナツタノデゴザイマスガ、今一箇條ハ裁判管轄ヲ變更スルニハ無論裁判所ノ構成ナリ、事務ノ分配ナリ、總テニ於テノ事情ハドウデアアルカラ取調ベナケレバナラヌト思ヒマスガ、委員會ニ於キマシテハ單ニ二四ノ請願ノミヨ御調ニナツタノミデ、控訴院——函館控訴院ナドノ管轄内ニ於ケル事務ノ總體ヨリ判事ノ構成其他總テ御調ニナツテ、適當ト御判斷ニナツタノデゴザイマセウカ、此點一ツ伺ヒ置キマス

○北村左吉君 御答致シマスガ、唯今ノ望月君ノ御質問ニナリマシタ第一第二ノ點ニ付キマシテハ委員長トシテハ、御答スルコトハ出來ナイノデアリマス、委員長ハ唯委員會ニ現ハレマシタルトコロノ議論ノ大要ヲ茲ニ御報告致シタルデアリマス、第三ノ點ニ付キマシテハ取調ヲ致シテ居リマセウ

(望月長夫君「詰リ委員會ハ總テ御調ベナカッタト云フコトニナル」ト呼フ)
 ○議長(杉田定一君) 關直彦君
 ○關春茂君 直彦デハナイデス
 ○議長(杉田定一君) 關春茂君
 (關春茂君登壇)

○關春茂君 唯今議題ニナツテ居リマス此裁判區域變更案是ニ本員ハ反對ノ意見ヲ有スルモノデゴザイマスルカラ、簡單ニ反對致シマスル理由ヲ辯明致シタイト思ヒマス(「反對デスカ」ト呼フ者アリ)反對デアアルノデゴザイマス、凡ソ一ノ法律ヲ改メタルカ、或ハ更アルト云フコトハ最モ重大ナコトデアリマス、苟モニハ教スベカラザルモノデアルト思フノデゴザイマス、何カ特殊ナルトコロノ事情、或ハ新規ナルトコロノ理由ノ發生ヲ認メザル以上ハ、容易ニ變更等ハ致スベカラザルモノデアルト本員ハ信スルノデゴザイマス、此唯今提出ニナツテ居リマスルトコロノ法律案ノ理由書、竝ニ提出者ノ茲デ説明セラレタトコロノ理由ヲ伺ヒ見マシタガ、或ハ新規ナル理由又ハ特別ナルトコロノ事情アルト云フコトヲ私ハ見出シ兼セマシタノデゴザイマス、併ナガラ提出者ノ方モ法律ヲ變更スルニ付キマシテハ、必ズ事情ノ特殊ナルコト、或ハ理由ノ新規ナルコトガナケレバナラヌト云フコトヲ御認メニナリマシタト見エマシテ、強テデス、言ヲ換ヘテ言フナラバ無理ニ最初變更致シマシタル當時ハ戰爭ノ時デアゴザイマシタガタメニ、或ハ其當時津輕海峽ニ敵艦ガ出沒シテ居ッタカ、或ハ御用船ノタメニ船舶ガ不足デアッタタメニ、交通ノ不便ヲ感シタト云フヤウナコトガ列ベラレテアル(「ソレノミデアリマセウ」ト呼フ者アリ)併ナガラ其當時モ一昨年デアゴザイマシテ、提出セラレタルトコロノ案ノ理由竝ニ提出者ノ辯明ヲ見マスルト云フト、決シテ左様ナコトハ書イテナイノデゴザイマス、ト云フコトハ議事筆記ガ確カニ之ヲ證明シテアル、決シテサウ云フ事實ハナカッタデアリマス、殊ニデス、其當時委員長ノ報告ハ何ト報告セラレマシタカ、此問題ハ突然出來タトコロノ問題デアリ、所謂事實ノ關係ヲ有スルトコロノ宿題デアルト云フ御報告デアリマシタ、諸君ハ其御報告ヲ諒セラレテ、而シテ其理由ノ下ニ滿場一致ヲ以テ通過シタルトコロノ問題デアゴザイマス、然ルニ今又二年モ經タナイ今日之ヲ改メヤウト致シマスルノハ、何カ其當時贊成セラレタルトコロノ理由ヲ打消サケノ理由ガナケレバ、ヨモヤ之ニ御贊成ハ出來ナイト思ヒマス、若シ其理由ナクシテ之ヲ贊成スルト云フナラバ、所謂朝令暮改、立法院トシテハ宜シク謹ムベキコトデアルト思ヒマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)モウ少シドウツ御辛抱ヲ願ヒマス——或ハ唯今委員長ノ御報告ニモゴザイマシタヤウニ記憶シテ居リマスルガ、仙臺ニナリマスルト里程ガ遠クナル故ニ、費用ガ多ク掛ルトカ、或ハ件數ガ減シマスルトカ云フヤウナコトヲ以テ此案ニ贊成ノ理由トセラレ、御方モゴザイマスケレドモ、此里程ノ遠クナリマシタタメニ費用ノ嵩マスト云フコトハ今日ノ問題デアリ、最初之ヲ變更致シマスルトキニ確カニ諸君ガ明確ニ御調ニナツテ、此議會ヲ通過セラレタ問題デアラウト思フ、之ヲ精シク申シマスルト、里程ノ遠キニ拘ラズ、費用ハ却テ減ズルト云フ事實ガアリマス、併ナガラ是ハ最初此議會ヲ通過スルトキニ確メラレタコトデアリマス、本員ハ茲ニ喋々致シマセウ、此件數ト云フコト即チ裁判事件——青森地方裁判所ノ裁判事件、宮城控訴院ノ控訴事件、此件數ト云フコトニ付キマシテハ唯今此處ニ見エラル、政府委員ガ、此案ノ委員會ニ於テ極ク

(二六)

明細ニ表ヲ掲ゲテ説明セラレマシタ、ト云フノハ、此件數ハ獨リ宮城地方ノ控訴院並ニ青森地方裁判所ニ限ラズモ、全國ヲ通ジテ同一ノ現象ヲ來タシテ居ルガ故ニ、決シテ是ハ裁判管轄ノ變更シタコトニ原因シタモノナラズ、云フコトヲ表フ以テ明細ニ答ヘラレテアル、是ハ直チニ件數ノ減少アルト云フヲ以テ、裁判區域變更ノ理由トスルコトハ出來ナカラウト思ヒマス、テ唯今委員長ハ青森縣一般ノ希望アルト云フヤウナコトヲ御述ベニナリマシタガ、是ハ何ヲ以テ御調ニナツタノデアルカ、本員ハ更ニ解セナイノデアリマス、弘前青森市ノ如キハ青森縣ノ首腦デアル、此首腦タル縣民一般ノ希望アルト云フコトヲ御認メニナツタトスレバ、甚ダ間違テ居ラウト思フノデアリマス、是等ノコトハ青森市ノ如キ、商業上ノ關係、又ハ函館控訴院ノ管轄ニスルト、海上ノコト故ニ、少ナクモ二日カ四日カ前ニ函館ニ往クコトニシテ滞在シナケレバナラヌノデアアル、訴訟ノコト故、日限ヲ限テ居ルカラ其當日ニ出發スルコトハ出來ヌノデ、豫メ青森ニ往クナリ、函館ニ往クナリシナケレバナラヌ、サウナツテ來ルト其地方ノ經濟上ニ餘程影響ヲ及ボス、故ニ裁判所ノ管轄ト云フヨリ此方ノ側テ青森ハ請願ヲ提出シテ居ル、其邊ハ宜シク御承知ヲ願ヒマス、以上ノ理由テ反對ヲ致スノデゴザイマスガ、尙終リニ一言ヲ致シテ置キマスガ、過ヲ知テ改ムルハ是レ君子ノ行動ト云フコトガアル、諸君ハ一昨年滿場一致ヲ以テ御贊成ニナツタ法律案デアル、其當時誤ラタメ今日改ムルコトデアレバ、是ハ已ムヲ得ヌトデアアルガ、恐ク滿場諸君ハ一昨年贊成シタノガ間違テハアルマイト思フ、或ハ一人二人ナラバ間違モアラウガ、滿場一人ノ反對モナカッタト云フコトヲ以テ見テモ、其當時ノ誤リナカッタト云フコトハ信ゼラル、ノデアリマス……

〔橋本久太郎君登壇〕

〔通告ガアル〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 通告ガアリマス、早速整爾君

〔早速整爾君登壇〕

○早速整爾君 諸君、此問題ハ請願委員十分ニ審査セラレ、更ニ特別委員ニ附託サレ、大多數ヲ以テ可決セラレタ問題デアリマス、私モ委員會デ是ノ可否ヲ十分調査研究シマシタガ、其結果本案ハ相當ナル請願ニ基キ、立テラレタル法律案故可決スベキモノト認メテアリマス、委員會ノ經過ニ依リマシテモ、本問題ニ反對セラル、トコロハ政府委員、並ニ其他唯今ノ關君ノ如キ御説ガアリマシタガ、本案ガ可決スレバ斯クノ非常ナル弊害ガアルト云フ、重大理由ヲ少シモ開カヌノデアリマス、只此問題ニ關シ、反對説ノ中最モ耳ヲ傾ケタノハ所謂朝令暮改デアル、一昨年ニ於テ變更シタモノヲ、本年更ニ元ニ復スルハ、餘リニ輕卒デハナイカ、法律ヲ變更スルニ輕卒ノ處置ヲ取ルハ甚ダ面白クナイ、所謂朝令暮改デアルト云フ論ガ是ガ耳ヲ傾クベキ説デアッタ、成程形式ノ上ニハ朝令暮改ニ相違ナイ、三十八年ニ變更シタモノヲ本年元ニ復スハ、形式ノ上ニハ朝令暮改ニ相違ナイ、併ナガラ人民ノ利害ヲ顧慮シテ、變更スルコトガ人民ノ便利ニナツタナラバ、過ヲ改ムルニ少シモ憚ルニ及バヌト思フ、人民ノ權利ヲ尊重スル裁判所、其裁判所ノ管轄區域ヲ定ムルニハ、諸地方人民ノ利益ト云フコトヲ目的ニシテ、管轄ヲ定ムルガ當然デアル、一昨年輕卒ニ變更シタノハ過ツタ、今日之ヲ元ノ通リニスルガ利益ナルヲ發見シタト云フ以上ハ、朝令暮改ト云フコトハ面白クナイガ、地方

人民ノ便利ノ上ニ已ムヲ得ナイ、又今回ノ管轄區域ノ變更ガ地方人民ノタメ便利ナルヤ否ヤハ事實ノ上ニハ明白デ、青森ノ人民ガ函館控訴院ニ往クガ便利カ、宮城ニ往クガ便利カハ直チニ事實ノ上ニ比較スルコトガ出來ルノデアアル、海ガ荒レルカラ汽車ノ方ガ便利デ往復ニ宜イト云フ、海トカ波トカ云フコトハチヨット山ノ中ニ住ンテ居ル人ニハ非常ニ怖イウヤニ感ゼラル、ガ、實際海トカ波トカ云フモノハ左迄恐イモノデハナイ、數時間テ往ケルノデ、山ノ中ニバカリ居ルト、海ヤ波ハ非常ニ怖イウヤニ思フガ、沿海ノ地ニ住居シテ居ル吾々カラ云フト、却テ山ガ怖イ汽車ヲ通ズルト云ウテモ、不完全ノ汽車デ長時間ヲ費シテ往復スルハ隨分苦痛ヲ感ズル、婦人老人ハ寧ろ船ノ中ニ乗ッテ安樂ニ往ク方ガ樂デアル、斯様ナ譯テ波ガ荒イトカ海ヲ越サナケレバナラヌト云フコトハ理由ニナラヌ、諸君交通ノ便利ハ青森縣カラ全體ノ交通ノ上テ函館ニ交通スルノガ便利デ、私モ先年東北及北海道ヲ歩イテ、アノ航海ガ非常ニ便利デ、即チ青森カラ仙臺ニ交通スルノハ、汽車ハ不完全テ非常ニ時間ヲ費ス、往復ニ困難ヲ感ズルノヲ實見シタ、斯ノ如キ理由ニ依ッテ、青森縣地方ノ人民ガ往復スル上カラ考ヘマシテ、函館ニ往復スル方ガ、仙臺ニ往復スルヨリハ非常ニ便利デアルト云フコトダケハ爭ハレナイ事實デ、此事實ガアリマス以上ハ、地方人民ノ便利ノタメニ此管轄區域ヲ變更スルト云フコトハ、是非ヤラナケレバナラヌト云フ、朝令暮改ト云フコトハ形式ノ上ニ於テ面白カラズト雖モ、人民ノ便利ノタメニ管轄區域ヲ變更スルニ何ノ妨ガアルカ、又朝令暮改ガ不體裁デアルト申シテモ、是ハ已ムヲ得ナイ、人民ノ便利ノタメニ人民ノ利益ノタメニ變更スルト云フコトハ已ムヲ得ナイ處置デアル、唯今關君ハ本案ニ反對ノ意見ヲ述ベラル、ニ方リマシテ、青森ノ人民ハ悉ク函館ニ往復スルノヲ便利トスルモノデナイ、青森地方ノ人民モ仙臺ニ往復スルト云フコトヲ便利トシテ居ル者ガアルト云フヤウナ御説ガゴザイマシタケレドモ、此問題ハ委員會デモ起ツタ問題デアリマスガ、私共ノ承ルトコロニ依レバ、關君ノ住居セラレテ居ル土地ハ、青森縣ノ中テモ最モ仙臺ニ近イ方ニ居ラル、ト云フコトデアアル、成程青森縣デモ、仙臺ニ近イ所ニ住居シテ居ラル、關君ノ如キハ、仙臺ノ管轄ヲ希望セラル、カ知レマセヌケレドモ、青森縣全體ノ上カラ打算シテ見タトキハ、多數ノ人民ハ函館ニ往復スルコトガ、便利デアルト云フコトヲ承知シテ居ルノデアアル、此ノ如キ理由ヲ以テ私ハ本案ニ贊成ヲ表シマス、而シテ反對ノ理由トシテ政府ガ算ヘ立テタトコロノ種々ノ事實ハ、殊更私ガ此議場ニ於テ大ニ駭サナケレバナラヌト云フ程ノ強イ根據ガアルト認メマセヌカラ、唯是ダケノ理由テ本案ニ贊成ヲ表スルニ十分ノ根據アリト信ジテ居ルノデアリマス

〔討論終結〕採決ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、採決シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス

〔少數ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 議長ハ開クベシト云フノガ多數ト認メマスガ……

〔異議ナシ〕「異議アリ」ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 異議アレバ、反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマヌ
 起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數ト認メマス、二讀會ヲ開クベシト云フニ決シマシム
 ○恆松隆慶君 開クベシト決シタ以上ハ直チニ二讀會ヲ開イテ、貴族院へ回シテラ宜
 カラウト思フ、直チニ二讀會ノ御開ク願ヒマス
 ○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイ
 セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

第二讀會

○議長(杉田定一君) 委員長報告ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス
 起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數ト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、二讀會ニ於テ決議ノ通り御異議ハ
 アリマセヌカ

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

第三讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、本案ハ委員長報告通り決シマシム、
 國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案ノ委員ヲ指名シマス

〔書記朗讀〕

佐藤虎次郎君、神戸松之輔君、前島元助君、福島美之助君、松原九郎君、
 安倉次左衛門君、高木龍藏君、三輪猶作君、鈴置倉次郎君

○議長(杉田定一君) 右指名ノ委員諸君ハ直チニ第十委員室ニ御集會ノ上、委員
 長理事ヲ互選シ引續キ審査ニ着手セラレンコトヲ希望シマス、日程第十、裁判所管
 轄區域變更ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、委員長築山和一君報告

第十 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔築山和一君登壇〕

○築山和一君 裁判所區域變更ニ關スル委員會ノ報告ヲ致シマス、本案ニ付キマシ
 テハ政府委員ノ出張ヲ請ヒ、提出者ヨリ詳細ナル説明ヲ致シマシタルトコロガ、政府委
 員ニ於キマシテハ愛知縣下ガ町村ノ合併ヲ致シマシタルニ付イテ只安城町ハカリテナシ、
 岡崎區裁判所西尾區裁判所ノ管轄内ニ於テ同一ノモノガアルカラ、是ト同時ニスルナ

レバ本案ノ贊成スルト云フ説テゴザイマシタ、ソコテ委員ニ於テハ直チニソレガ修正案ヲ出
 サレマシム、其修正案ハ即チ此「二行目」ノ「赤松及古井」カラ下ヲ「同國同郡依佐美村大
 字高棚及同國幡豆郡豐坂村大字逆川桐山元上六栗ヲ同地方裁判所ノ管轄ニ同地
 方裁判所管轄同國碧海郡櫻井村大字川島元村高ヲ同地方裁判所管轄内西尾區裁
 判所ノ管轄ニ變更區ト云フ修正案テゴザイマス、提出者ニ於キマシテモ此案ニハ異論
 ハゴザイマセヌ、故ニ、詰リ修正案ヲ以テ大多數可決致シマシタ、ソレカラ附則ニ於キマ
 シテ「本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フ「四月一日」ヲ「七月一日」
 ト修正ニナリマシタ其次ノ二行目ニ「本法施行前西尾區裁判所ニ於テ受理シタル事件
 ハ同區裁判所之ヲ裁判ス」ト云フ「本法施行前西尾區裁判所又ハ岡崎區裁判所
 ニ於テ受理シタル事件ハ其各區裁判所之ヲ裁判ス」ト斯ク云フ風ニ修正ニナリマシ
 カラ、何卒御贊成アラントヲ希望シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスルテ採決ヲシマス、本案ノ二
 讀會ヲ開クベシト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
 ○恆松隆慶君 本案ハ政府ニ於テモ反對モナイ案テゴザイマスカラシテ、ドウカ讀會ヲ
 省略シテ直チニ決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り讀會ヲ省略シテ直チニ確定スルニ御異議ハ
 アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
 確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定シマシタ、日程第
 十一、會計法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長高橋安爾君報告

第十一 會計法中改正法律案(森本駿君)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔高橋安爾君登壇〕

○高橋安爾君 諸君會計法中改正法律案ノ委員會ノ經過結果ヲ御報告致シマス、
 本案ハ本院ニ於テ歴史アル問題テゴザイマシタ、短簡ナル案テハゴザイマスルケレドモ、議
 會ノ權能上重大ナル關係ヲ有スルモノテゴザイマス、即チ財政監督ノ上ニ於キマシテハ、
 最モ注意ヲ拂フベキ規程テゴザイマスルガ故ニ、委員會ニ於テモ其心ヲ以テ慎重ニ審査
 ヲ遂ゲタノテゴザイマス、殆ド一箇月モ要シマシテ數回委員會ヲ開イタノテゴザイマスルガ、
 其經過ノ要領ヲ申シマスレバ、會計法第八條ノ改正ニ付キマシテハ、會計ノ年度

ア申シマスルト、從來此ノ豫備金ノ支出ノ承諾ヲ求ムル手續ト云フモノハ、年度ヲ云ヘバ二年目ニ承諾ヲ求ムルコトニナルノデゴザイマス、即チ中一年度ヲ置キマシテサウシテ、三回目ノ議會ニ支出ノ承諾ヲ求ムル、支辨ノ承諾ヲ求ムルト云フ手續ニ相成テ居リマス、來年ノ事ヲ云ヘバ鬼ガ笑フト云ヒマスガ、三年前ノコトヲ審査スベキ從來ノ手續デゴザイマスルガ故ニ、歲月ノ經過ト共ニ其支辨事項ノ調査ニ付キマシテハ、ドウシテモ之ヲ蔑視スルノ傾ガアル、此等ガ主要デゴザイマスルコトアス、年月ヲ經キマシテ後ニ於テハ、自然ト其調査ニ於テモ精密ヲ缺クト云フ嫌ガアル、是ガ一ツノ理由、其次ニハデス、責任支出ヲ致シタト云フ當局者ガ常ニ其職ニ在リマスレバ、二年々々モ尙新ナル記憶ヲ以テ、調査ノ末ニ其責任ヲ問フト云フコトモ自然ノ狀勢デゴザイマセウガ、多クハデス、責任支出ヲ致シタ當局者ト云フモノハ頗々交代致シマシテ、此事後承諾ヲ求ムルト云フ時期ニハ、已ニ其責任者シテモハ居ラナイト云フコトガ多クアル、責任ヲ問フト云フ目的物ガ無クナラシマウアル、隨テ此嚴格ナル取締ト云フモノヲ加フルニ及バズシテ止ムト云フ、今日マデノ有様デゴザイマスルガ故ニ、八條ヲ改正致シマシテ、豫備金ノ支出アルトキハ必ズ次ノ議會ニ於テ其承諾ヲ求ムルト云フコトガ最も重要視スベキ事項アルノデゴザイマス、茲ニ提案ノ重キナル主意トシテ御注意ヲ請ヒタイコトハ、御覽ノ如ク此八條ノ改正案ト云フモノハ、豫備金ノ支出アルトキハト云フコトニナラシメ居リマス、是ガ現行法ニ依リマスルト云フコト、支辨アリタルトキハト云フコトニナラシメ居リマス、ア改正法ノ改正ヲ加フル趣旨ガ即チ此ニアルノデゴザイマスルカラ、諸君ニ深ク御注意ヲ請ヒマス、改正法ニ於キマシテハ、此支辨ト云フコトハ見マセヌデ、支出主義ニ依リマシテ、支出ノアツタトキニハ其支出シタルモノニ付イテ承諾ヲ求ムルト云フコトヲ規定スルガ目的ニテ居ルノデゴザイマス、是ガ即チ現行法ト相違スル點デゴザイマシテ、現行法ニ於キマシテハ、支出シ及支辨シタル其結果ヲ計算書ト致シマシテ、其計算書ヲ添ヘテ議會ノ承諾ヲ求ムルト云フコトニナラシメ居リマスガ、改正案ニ於キマシテハ、支辨ト云フコトハ後ニ決算ニ於テ審査スルノ餘地ガアルカラシテ、其決算ヲ見ルマデニハ大層長キ時日ヲ要スルコトデアラフ、即チ今日ノ實際ノ如ク年度ノ經過後五箇月以内ニ調査ヲスルト云フヤウナコトデハ、前申シタ如クヤハリ二年目ニ出スト云フヤウナ結果ニナルノデゴザイマスカラ、ソレヨリハ支出ヲ致シタナラハ、則チ支出ヲ確定シタル計算ニ依テ事後承諾ヲ求ムルト云フコトニシナケレバナラヌト云フノガ、改正案ノ要旨アルノデゴザイマス、ソレカラ第十二條ノ改正ノ趣旨モ、諸君ハ本會ニ於テ其大要ハ御聽キニナラタコトデゴザイマスガ、尙其詳シキコトヲ委員會ニ於テ取調ベマシタ結果ニ依リマスルト、要スルニ此條ノ改正ハ、國庫剩餘金ノ濫出ヲ禁止スルト云フノガ目的デゴザイマシテ、今日マデ實際ニ於キマシテハ國庫剩餘金ト云フモノハ責任支出ト云フ名ノ下ニ、幾ラデモ入用タケツレタケテ支出セラレテ居ル事實デゴザイマス、是ガ責任支出デゴザイマスカ、但シハ無責任支出デゴザイマスカ、此本案ノ改正ノ趣意カラ申シマスト云フガ、本問題ノ即チ歴史アル問題トナラヌ所以デアリマス、十二條改正ノ趣旨ハ國庫剩餘金ト云フモノハ、憲法ノ規定ニモ若クハ會計法ノ規定ニモナイトコロノ支出デ

ゴザイマシテ、而シテ其支出ト云フモノハ、第一、第二ノ豫備金ヲ補充スル名ノ下ニ二年々々大ノモノガ支出セラレテ居ル、是ハ此儘ニ置キマスルト云フコト、豫算ト云フモノガアス、殆ドアラナイヤウナモノニナル、如何ニ杜撰ナル豫算ニシマシテモ、豫算ノアリマスル外ニ豫算ナク、制限ナク國庫ノ金ヲ出スト云フコトハ、甚ダ不都合アルト云フノガ、即チ此十二條ノ改正ノ趣旨ニナルノデアリマス、(簡單ト呼フ者アリ)我輩ノ意見、我輩ノ議論デアリマスナラバ、如何ニモ御注文通り簡單ニ申シマス、本員公職ニ負フトコロノ公務トシテ、即チウレヲ重シテ言フタケハ言ハニヤナラヌデス、(憲法モ法律モ知ラヌヤウガ簡單ナシツト云フンダ)ト呼フ者アリ、政府ノ是ニ不同意ヲ表シマスル理由ノ一ハ、會計ト云フモノハ一年度ヲ以テ結ブモノアルカラシテ、ソレバ二分致シマシテ、サウシテ幾度ニモ承諾ヲ求ムルト云フコトハ甚ダ面白クナイコトデアル、例ヘバ支出ノ一部ヲ次ノ議會ニ求ムル、他ノ一部ヲ其次ノ議會ニ求ムル、斯ウ云フヤウナコトハ會計ノ仕事トシテ甚ダ妙デナイト云フノガ、ソレカラシテ此改正案ノ通リ支出ヲ確定シマシテ計算書ノミデハ、時ト致シマスルト、支出ノ金額ガ一度計算セラレ、再ヒ計算セラレテ二重ニ計算ラスルコトガ生ズル、ソレハドウ云フ場合デアアルカト申シマスルト云フコト、此支出ノ確定計算書ト云フモノハ性質豫算的ノモノデアゴザイマスガ故ニ、實際ニ於テ仕拂ヒマシテ其餘金ヲ生ズルコトガアル、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ二重ニ計算サレル虞ガアルト云フノデゴザイマス、ソレカラ又從來ノ計算書ヲ提出シテサウシテ次ノ議會ニ承諾ヲ求ムルト云フコトニ致シマスルト、此計算書ト云フモノハドウシテモ出來ナイ、畢竟不可能ノモノデアルト云フノガ、第八條ニシマスル不同意ノ意見デアアルノデゴザイマス、併ナガラ是ハ大ニ見當違ノ意見デアアルノデゴザイマシテ、詰リ第八條ノ改正ノ趣旨ト云フモノハ、決算ノ計算書ヲ出シテ事後承諾ヲ求ムルト云フノデアゴザイマセヌ、即チ支出タケテ確定シタル決算書——豫算的ノモノヲ以テ足レリトスルノデアゴザイマスカ、此反對ノ理由ハ、委員會ニ於テハ重キヲ爲サヌノデアリマシタ、ソレカラ其次ニハ十二條デゴザイマス、改正案ノ趣旨ニ於テハ豫備金ヲ相當ニ見積リテ、サウシテ豫算ニ編成致シマスルモノナラバ、剩餘金ト云フモノヲヤラニ出ス必要ハナイノデアル、斯ウ云フノデアゴザイマスカ、政府ノ見ルトコロニ依リマス、豫備金ヲ相當ニ見積リト云フコトハ甚ダ至難デアル、幾ラニ見積リテ宜シイカ、甚ダ至難デアル、今日マデノ既往十六年間、即チ明治二十四年度ヨリシテ、三十九年度ニ至リマスル此平均ヲ見マスト云フコト、五百萬圓以上ニモ上テ居ルト云フコトデアゴザイマス、斯ノ如キ多大ナル豫備費ヲ設ケルト云フコトハ、他ノ有效ナル歳出ニ影響ヲスルコトデアアルカラシテ、是ハ甚ダ困ル、斯ウ云フモノ一ノ理由、ソレカラシテ豫備金ヲ増シマシテ幾ラト云フコトニ極メマシテモデス、尙足ラヌト云フモノハ、ヤハリ國家必要ノ費用ト云フモノハ支出セラレタナラヌカラシテ、其場合ニ直チニ憲法七十條ヲ適用シテ處置セネバナラヌト云フコトハ甚ダ不都合デアル、今日マデ憲法七十條ヲ適用シタル場合ト云フモノハ誠ニ稀デアゴザイマシテ、戰爭ノ場合ノ外ハ適用シタコトハナイ、斯ウ云フノデアゴザイマス、又モウ一ツハ此剩餘金支出ト云フコトハ、第十二條議會以來既ニ解決セラレテ居ル問題デアラフ、是ハ責任上支出ラスルモノデアアルカラシテ、憲法七十條ニハ勿論關係ノナイコトデアアル、然ルニ此會計法ノ十二條ヲ此ノ如ク窮窮ニ規定セラレ、ト云フコトニナリマシテハ、實際ニ於テ甚ダ差支ヲ生ズルコトガアラウト云フノガ、即チ此反對ノ理由

ノ重モナルモノデゴザイマス 併ナガラ政府ニ於キマシテモ、年々歳々本案ノ如キ改正案ガ 議院ニ現ハル、ニ對シマシテハ、十分心配ヲ致シテ何トカ解決ノ途ヲ盡シタト云フ考慮 ヲ致シテ居ルト云フコトデゴザイマス、然ルニ別ニ是ツト云フ案ヲ未ダ得ルニ至ラヌト云 フコトハ甚ダ遺憾デアルト云フコトデ、委員會ハ是ニ於テ唯今申ス如ク十六年間ノ豫備 金ノ支出、ソレカラ剩餘金ノ支出並ニ此憲法七十條ノ場合ニ於ケル支出ニ付キマシテ、 參考書ヲ政府ヨリ徵シマシテ、是ガ取調ヲ致シマシタトコロガ、豫備金及剩餘金ノ支出 ト云フモノハ五百萬圓ドコロデハナイ、ナカク、澤山ノ金ガ出テ居ルノテ、其十六年間 ノ平均ハ殆ド七百萬圓ト云フモノガ、此豫備金及剩餘金ヨリ支出セラレテ居ルノデゴザ イマス、若シモ相當ナ豫備金ヲ置キマシテ、サウシテ此十二條ノ改正ノ目的ヲ達シヤウト 云フニハ、少ナクモ七百萬以上一千万前後ノ金ヲ要スマイカト云フ懸念ガゴザイマシタダ メニ委員會ニ於キマシテハ、特ニ交渉委員ヲ選ビマシテ即チ三名ノ交渉委員ヲ舉ゲマシ テ、政府ト交渉ヲ致シマシテ何ゾ此間ニ解決ノ途ヲ付ケタイト云フ考デ、屢、交渉ヲ重ネ タノデゴザイマス、併ナガラ其交渉ノ結果ハドウデアアルカト申シマスレバ、一ノ成案ハナカッ タノデゴザイマス、是ナラバ宜カラウト云フ案モ立テ見マシタ、併ナガラ其案ニ付キマシテ ハ大藏大臣ノ不同意ガゴザイマシタ、遂ニ此八條ノ改正ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナカッ タノデアアル、ソレカラ十二條ニ至リマシテハ尙更交渉ガ至難デゴザイマシタガ、遂ニ本期議 會ヨリ致シマシテ十二條ノ目的ニ副フトコロノ一ノ考案ニ付キマシテハ、法律ヲナシニ 議院ニ於テ一ノ良キ慣例ヲ作ラウデアナイカト云フコトニ歸著致シマシテ、大藏大臣モ 稍、是ニハ同意セラレマシテ政府ノ確カナル意見ヲ求メルト云フコトニハナク、タノデゴザイ マスガ、政府ハ之ニ向ツテ遂ニ確答ヲ運ビニ至ラヌノデゴザイマス、承ハルトコロニ依リマス ルト、今日尙其事ハ協議中ニアルト云フコトデゴザイマスガ、何時迄モツレテ居ル ト云フコトニハ參リマセヌカラシテ、委員會ハ去ル十九日ニ於キマシテ遂ニ本案ノ第八條 「豫備金ノ支出アルトキハ」ト云フコトコロヲ、支出アリタルトキハ」ト修正致シマシテ、サウシ テ其他ハ原案ノ通り可決セラレタノデゴザイマス、實ハ十二條ニ付キマシテハ、委員中ニモ 一、二ノ意見ハゴザイマシタケレドモ、二名ニ對スル四名ノ多數ヲ以テ可決セラレタノデゴ ザイマス、終リニ一言致シテ置キマス、申ス迄モナク此案ノ運命モ推量ラル、ノデゴザイ マシテ、誠ニ張合ノナイコトデゴザイマスケレドモ、併ナガラ歴史アル此問題ガ實ハ私ノ見 ルトコロデハ、議院ノ權能上重大ナル案トシテハ、左程ニ注意ヲ拂ハレテ居ラヌノデア ル、既ニ此本院ノ聲ガ低イノデアアル、願クハ諸君、此問題ニ對シマシテハ、十分ニ其聲ヲ 大ニシテ、サウシテ其反響ヲ聞クマデ鞏固ニ繼續セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 小川君、御演說ニナリマスカ
○議長(杉田定一君) 別段反對ノ通告モアリマセヌ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○恆松隆慶君 誠ニ委員長ハ長ク辯セラレマシタガ、ドウカ是ハ直ニ讀會ヲ省略シテ、 貴族院ニヤツダガ宜カラウト思ヒマス
○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り直ニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略スルニ御異 議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通御異議ハアリマセヌ カ

會計法中改正法律案 確定議
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ、日 程第十二、渡良瀬川改修工事ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長柳田藤吉 君報告

第十二 渡良瀬川改修工事ニ關スル建議案(木村 委員長報告)
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ、日 程第十二、渡良瀬川改修工事ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長柳田藤吉 君報告

柳田藤吉君 渡良瀬川改修工事ニ關スル建議案ノ委員會ノ御報告ヲ申上ゲマ ス、此案ハ極メテ簡單ナル案デアリマスケレドモ、一朝洪水デモアリマスルト、人命ニモ 係ハリマスルト云フモノデゴザイマスカラ、政府委員ノ説明ヲ能ク聞キマシテ、全會一致 ヲ以テ原案ノ通り可決仕リマシテゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、委員長報告通御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、委員長報告通御異議ハアリマセヌカ

第十三 大船渡鐵道鐵業ノ利益補給ニ關スル建議 案(磯部四郎君外六名提出) (委員長報告)
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、報告通決シマシタ、日程第十二、大 船渡鐵道鐵業ノ利益補給ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長大岡育造君報 告

大岡育造君 大船渡ノ鐵道並ニ鐵業ニ關スル委員會ノ報告ヲ致シマス、唯今柳田君 ガ誠ニ簡單ニシテ成功セラレタ後ト立ッテ、餘リ長ク説明ヲスルコトハ本員ノ甚ダ好マヌコ トデアリマスケレドモ、此案ハ二回マテ本院ヲ通過シテ政府ニ送付シマシタケレドモ、更ニ反 響ノ開クベキモノガナクシテ、今度又政府ニ提出ニナル譯デアリマス、ソレガタメニ今度ハ政 府トモ交渉談判ヲセラレマシタ、ソレ等ノ始末ヲ成ルベク審ニ諸君ニ報告セヨト云フガ委 員會ノ決議デアリマスカラ、少シク諸君ノ御靜聽ヲ煩ハシマス與羽ニ瓦港ヲ見出シテ是 ニ鐵道ヲ聯絡シテ、彼ノ地方ノ開發ヲ致シタイト云フノガ本案ノ重モナル趣意デアルノデ アリマス、倍テ此大船渡ノ邊ガ良港デアルト云フコトニ付イテハ、肝付中將ノ報告モアリ、 仙臺ノ土木監督署ノ調査モアツテ、殆ド疑ヲ容レマセヌ、其上ニ今度遞信省ノ海路ノ方

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、報告通決シマシタ、日程第十二、大 船渡鐵道鐵業ノ利益補給ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長大岡育造君報 告

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、報告通決シマシタ、日程第十二、大 船渡鐵道鐵業ノ利益補給ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長大岡育造君報 告

ノ視察ヲシテ伊藤ト云フ技師ノ報告ニ依リマシテモ、其イ凌テアルコトハ分ツタノデゴザイマス、ソレヲ政府委員ニ就イテ此處ニ鐵道ヲ開クコトニ付イテハ、ドウ云フ運ビニナリテ居ルカラ開キマシタ、所テ政府ハ一應線路ヲ踏査シテ此近所ニ山田、宮古等ノ候補地ガアル、ソレトヤハリ同ジク算ヘテ大船渡モ豫定ノ候補ニナリテ居ルカラ、踏査ヲシタト云フコトデアリマス、鐵道ノ敷設ヲ目的トシテ踏査シタルコトニ依レバ、此地方ニ線路ヲ敷クコトハ隨分困難ノ極キデアリマシテ、三哩以上ノ隧道モ貫カケレバナラヌト云フコトデアリマス、ソレテ此地方ニハ難工事ヲ施シテモ、尙有望ナルトコロノ金銀銅鐵殊ニ鐵モ多クアルト云フ地方ノ申出アル、又吾々モ聞クトコロデアリマスカラ、之ニ付イテ農商務省ニ質シマシタトコロガ、農商務省ハマダ此地方ニドレダケ多クノ鑛物ガアルヤヲ調査シテ居ラヌカラ、分ラヌト申シマス、因テ委員會屢ニ巖手縣下ニ於ケル金銀銅鐵其他ノ鑛物ニ付イテ、探掘試掘ノ許可ヲシタモノハドレダケアルカ、及今日出願シテ居ルモノハ幾ラアルカ取調ベテ貫ヒタイト申シテ、其回答ヲ得マシタ、是ハ此建議ニ有要ナル材料ト認メマシタカラシテ、極ノ概略ノトコロヲ申シマス、試掘鑛區ノ數ガ金銀銅鐵亞鉛等其他ノ物ヲ合セテ百六十四件アリマス、其坪數ガ六千六百七十三万九千六百五十三坪アリマス、而シテ右ノ試掘出願中ノモノガ二百三十一件アリマス、ソレカラ同ジ金銀銅鐵其他ニ付イテ探掘ヲ許サレタル數ガ幾ラアルカト云ヘバ、ソレハ百七十四アリマス、ソレカラ此坪數ガ二千六百六十四万零七百二十九坪デアリマス、探掘ノ出願中ノモノガ十七件アリマス、此ノ如ク多數ナル探掘試掘ノ許可セラレタルモノ及出願中ノモノガアリマス、御承知ノ通りニ出願ニモ多クノ金額ヲ拂ハナケレバナラヌ、無論鑛區ニハ、租稅ヲ拂フデアリマスカラシテ、此地方ニハ鑛物ノアルト云フコトヲ見ルニハ、屈竟ノ材料ト私共ハ認メタデアリマス、ソコデアリマシタヤウニ、一回マデモ建議ヲシテ而シテ反響ノナイト云フコトハ、意味ノ徹底シナイデアラウト云フコトデアリ、委員會中ヨリ別ニ三人ノ委員ヲ擧ゲテ、委員長ヲ加ヘテ政府ニ交渉ヲ開クコト、ナリマシタ、其委員ニハ大淵君、守屋君、森本君ノ三名ガ擧リマシタ、而シテ委員長モ之ニ加ヘテ政府ニ交渉ヲ開キマシタ、政府ノ大臣ハ大藏、農商務、逓信ノ三省デアリマス、皆テ此三省ノ大臣ノ列席ノ所デアリシマシタガ、第一ニ逓信大臣ニ向テ此地方ニ鐵道ヲ開イテ、此豐富ナル鑛物ヲ出シ、此地方ノ產物ヲ開發スルト云フコトハ如何デアルカト問ヒマシタトコロガ、逓信省ニ於テハ固ヨリ此邊ニ豫定地ヲ持ツコトデアルカラ、果シテ仰セヨウニ鑛物ガ豐富アルモノナラバ、產物ガ豐富アルモノナラバ、此地方ニ鐵道ヲ架ケルコトヲ敢テ辭セナイト云フコトデアリマシタ、ソコデアリマシタ大藏大臣ニ若シ此處ニ鑛物アリ、而シテ鐵道ヲ敷クニハ甚ダ困難デアルト云フ場合ニ、如何ニスルカト云フコトヲ問ヒマシタトコロガ、是亦同ジク果シテ鑛物ガ豐富アル譯ナレバ宜シイガ、先ヅソレハ如何デアリマセウカト云フコトデアリ、即チ農商務大臣ニ其問ハ廻テ往ツタノデス、サウスルト農商務大臣ハ未ダ政府ニ於テハ調査ヲ遂ゲナイカラシテ、如何トモ御返事ハ出來ナイ、茲ニ於テ大藏大臣ハ既ニ政府ニ於テ確實ナル調査ノ出來ナイ以上ニハ、之ヲ保護スルトモ何トモ御答ハシニクイト云フ挨拶デアリマシタ、ソレテ農商務大臣ニ對シテ、然ラバ現ニ多クノ探掘試掘モ許サレ、現ニ又多ク出願シテ居ルデアリマセウカト問返シマシタ、所ガソレハアルカモ知レマセウカトモ、必ズ出願ヲ以テ、或ハ許可ヲ以テ、鑛物豐富ナリトハ認メ難イ、或

ハ出願中ニハ重テ居ルモノモアルカモ知レヌト云フデアリマス、然ラバ政府ニ於テ即チ農商務省ニ於テ此地方ニハ鑛物アリト云フコトヲ證明スルコトガ出來ルモノデアリマスカ、大藏省モ、逓信省モ、農商務省モ有ルト調査シテ來レバ、何時デモ應ジテヤラウト云フ態度デアリマスカラ、斯様ニ問ウテ見マシタ、私共ノ考テハソレハ殆ド能ハザルコトデアラウト信ズル、ナゼナレバ此附近デハ所謂釜石ノ製鐵所ガアル、釜石ノ鐵山ガアル、明治ノ初年ニ多クノ金ヲ注入シテ、之ニ著手シテ幾ナラズシテ此邊ニ原料少ナシト云フ廢メテシマツタ、而シテ之ヲ民業ニ移シテ曉ニ於テ如何ト云ヘバ、今日ハ材料ハ豐富アリ利益潤澤デアル、又小坂ノ鑛山ト云フモノハ、今日日本一ノモノニナリテ居リマスガ、是モ最早命脈盡キタリトシテ、殆ド棄テラレントスル年ニ、最後一ノ活斷ニ依テ回復シテ、今日ハ日本一ノモノトナツタコトガアル、一昨年頃戰爭ノ最中金ノ大層要ルト云フ時分ニ、大藏省アタリカラ確カ出タコト、思ヒマス、御上ニモ達シタト云フ話デアリマスガ、巖手縣ノ氣仙郡ニハ非常ナ金鑛ガアツテ確カ四十億位ハ掘出サレルト云フヤウナコトガ傳ヘラレマシタ、而シテ今ヤ何カト云ヘバ、アノ時思フ程ニハナイト云フコトデアリマスガ、併ナガラ之ヲ愈々著手シタラバ、或ハアルカモ知レヌデアリマス、此場合ニ如何デアリマスカ、政府ハ如何ヤウナモノデアルカ、結局農商務省ニ於テハ、調査ノ上ニ於テ愈々有リ、愈々無シト云フ御判斷ヲナサル責任ヲ御取リニナルカト申シマシタ、處ガソレハ御説ノ通り決シテ責任ノ取レル答ノモノデゴザリマセヌト云フ答デアリマス、然ラバ政府ガ調査ヲシタ後ニ始メテ此鐵道ヲ許スト云フ、即チ架ケルコト云フコトハ何時ノトキニアルカト云フコトハ、殆ド知ルコトガ出來ナクナルデアリマセウカ、此時ニハ守屋君ナドカラ大分進シテ質問ガ出マシテ、遂ニ「ボーリング」デモ一々立テテナケレバ結著ガ付カナイヤウニナツタ「ボーリング」立テ、見テモ、愈々有ル無イト云フコトハ言ヒ難イ、若シ政府ガサウ云フ保證ガ出來ルモノナラバ、鑛山師ハ決シテ外レツコトハナイモノデアル、斯ウ云フ問題デアリマスカラ、私共ハ政府ガ單ニ答辯ヲ遷延セラレズ、徒ラ二日ヲ潰スコトヲ甚ダ遺憾トシテ、右ノ如ク仰セラレルナラバ、戰後ニ於テ富源開發ト云フコトハ何レノトキニサレドゴザイマスカ、奥羽ノ地方ハ潮流ノ關係カラシテ、天候ノ變動ニ遭ウテ、屢ニ農民ハ飢饉ニ出逢フコトガアリ、此地方ニハ是非天候ノ關係ナシ事業ノ出來ルヤウナ途ヲ開イテヤラナケレバナラヌ、單ニ此人民ノ保護ノタメニ考ヘテモ、況ヤ此ノ如ク豐富ナル金銀銅鐵ノ地方ヲ開カナケレバ、國富ハ何處ニ發展シマセウカ、私共ガ考ヘルニハ此邊ハ恰モ筑豊ト同ジクアラウト思フ、——福岡縣ト同ジクハナイカト思フ、アノ福岡縣デサヘモ、鐵道ヲ架ケル當時ニアツテハ、石炭ガ果シテ有ルヤ無シヤ分ラヌト云フ議論デ、日ヲ潰サレタコトモ隨分アツデアリマスカラ、此場合ニハ政府トシテハ政治上ノ決斷ヲスル外ハナイノデ「ヒヤノ」技師ノヤウナコトヲ言フテ、日ヲ送ラレテハ戰後ノ發展ノ目的ハ立チマセウ、是非此處デ一ツ政府ハ政治上ノ決斷ヲシテ貫ヒタイ、御再考ヲ煩ハスト云フテ別レマシタ、而シテ一昨々日再會見ヲ致シマシタルトキニ於テ、幸ヒニシテ大藏大臣ハ三省ヲ代表シテ、建議書ノ趣意ニ依レバ、今期ノ議會ニ豫算ヲ提出シテ云フヤウニ書イテアリマスガ、サウ云フ御希望ニハ應ジ兼ネマスカレドモ、三省ニ於テ此問題ノタメニ委員ヲ出シテ、調査ノ上解決ヲ致ス積リデアリマスト云フ答辯ヲ得マシタ、委員會ハ此事ヲ報告ヲシテ、而シテ全會一致テ可決致シマシタ——原案ヲ其儘ニ致シマシタ、尤モ其時ニ言殘シタコトガアリマス

カラ此處テ申シマスガ、政府ニ向ッテ申シテ置キマシタ、吾々ノ希望ハ、第一ニ調査ノ結果、此地方ニ速ニ鐵道ヲ敷設シテ貨ヒタイ、若シ鐵道ハ敷設スルトシテモ、尋常ノ順序ニ依ッテ例ノ十二年計畫ノ後ニ加ヘラレルト云フガ如キ遠慮ナル場合ガアルナラバ、私設ニ許サレテ之ニ相當ノ補助ヲ與ヘテ貫ヒタイ、大難ノ工事ヲ控ヘテ居ル場所デアレバ、ソレ位ノ御詮議ハアリタイコトデアル、是ハ諸君モ御承知ノ通り、私ハ熱心此間モ申シマシタヤウナ譯テ、十二年計畫ナルモノニ出デズトモ、又線路ノ繋ガル所ハ何處カト云ヒマスルト、日本鐵道ト奥羽鐵道トノ連絡ニナル部分、即チ黑澤尻カラ横手ニ達スルノデアル、其黑澤尻カラ横手ニ達スルニハ何時出來ルカト云フト、四十八年カラ起工シテ後五年目ニ出來ルノデアリマス、五十何デモ三年頃テナケレバ、出來マセヌ、政府デ調査ハシタケレドモ、鐵道ハ架ケマス、併ナガラ五十二年ノ又後週シニシテ、是ガ七年掛リマスト六十年頃ニナラナケレバ奥羽地方ノ鐵物ヲ開發スルコトハ出來ナクナリマス、此ノ如キハ即チ餘リ遠慮ニ過ギマスカラ、寧ロ速ニ私設ニ許サレテ之ニ相當ノ補助ヲ與ヘラレルヤウニ希望致シマスト云フコトヲ、三省大臣ニ明言ラシテ、希望ヲ表明シテ置キマシテゴザイマス、此事ハ先刻ノ中ニ漏レタカラ、此處デ改メテ申シテ置キマス、右ノ通りノ經過ニ依ッテ、此結果ヲ得マシタ次第デアリマスカラ、此建議案ヲ諸君ノ一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ希望致シマス、又此機會ニ於テ大藏大臣モ御出席ノコトデアリマスカラシテ、政府ノ意見ヲ表明セラレンコトヲ希望致シマス

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 唯今御報告ニナリマシタ建議案ニ付キマシテハ、通過ノ上ニテ政府ニ於キマシテハ、篤ト熟考ヲ致スコトデアリマセウガ、唯今委員長ノ御報告ノ中ニアリマシタ政府ト特別委員トノ交渉ノ事柄ニ付キマシテ、一言申述ベテ置キマス、ソレハ此補助ヲ致スト云フコトハ、國庫ノ上ニ多少ノ負擔ヲ增加致シマスコトデゴザイマスルデ、極メテ此事ハ慎重ニ致サナケレバナラナイ、成程衆議院ノ多數ノ諸君ガ御決定ニナリマシタコトデアリマスルデ、礦物ノ多寡ト云ヒ、其他經濟上ノ觀察ニ於テ御遠算ハナイコト、ハ存シマスルガ、當局者ト致シマシテハ、又十分ナ確メタ上ニモ確メテ置カナケレバナラヌコトデアリマス、然ルトコロガ農商務省ト云ヒ、遞信省ト云ヒ、マダ諸省タルニ調査ノ出來テ居リマセヌヤウナ都合デアリマスルデ、ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ、關係ノ各省申合セマシテ委員ヲ作りマシテ、此建議ニナリマシタコトノ問題ニ付キマシテ、十分調査ヲ致シ、而シテ後ニ政府ノ意見ヲ決シタイト云フ考ヲ有シテ居リマス、此段、申上ケテ置キマス

○議長(杉田定一君) 別ニ御議論モナイヤウデアリマスルデ、採決ヲ致シマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通り可決セラレマシタ、日程第十四、司法官ノ待遇ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長古賀庸藏君

第十四 司法官ノ待遇ニ關スル建議案(宮古啓三 委員長報告)

〔古賀庸藏君登壇〕

○古賀庸藏君 唯今問題ニ上リマシタ、司法官ノ待遇ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ニ付キマシテ提出者ノ發議ニ曰ク、現今司法官ニ對スル事柄ハ他ノ官吏中最モ名譽アル官吏ニ拘ラズ、ドウモ待遇ガ薄イタメニ、一例ヲ述ブレバ、帝國大學ノ法科卒業生ヲ初メ、私立大學若クハ高等學校ノ法科ノ卒業ニ於テ、第一ニ賞望スルモノハ實業家デアル、第二ニ賞望スルモノハ行政官デアル、第三ガ司法官ヲ賞望スルモノモ、畢竟スルニ今日ノ有様デハ、司法官ノ待遇ノ薄イヨリシテ、賞望者ガ殆ド第二位ト云フ位ノ有様ハ誠ニ遺憾ナ次第、即チ司法官ハ生命、財産、名譽、權利ノ保護者トシテ、最モ名譽アル官吏ニ拘ラズ、此ノ如キ待遇ノ薄イ故ニ宜シキ人ヲ得ナイト云フ感ヲアルノハ、遺憾ナ次第デアル、是ガ待遇ヲシテ之ヲ厚クスルノコトニ致シタイト云フ建議ノ趣意デアル、政府委員ニ向ッテ所見ヲ質シテ見レバ、政府ニ於テモ財政ノ許ス限リ、今日ノ司法官ノ待遇ガ厚イトハ思ハナイ、財政ガ許ス限リハ厚ク待遇ヲ致シタイ考デアルト云フコトデアツタ、因テ内容ヲ見マスレバ御承知ノ如ク司法官試補ナルモノハ、今有給ノモノト無給ノモノトアル次第デ、其又有給ナルモノハドレダケノ金額カト云ヘバ、年俸僅ニ二百圓カラ四百二十圓ハカリ、シテソレヲモ遣レナイ、無給ノモノガアルト云フ位ノ有様デアツテ、而シテ、此試補ノ職ヲ今特別ノ法律ニ於テ一年半經ナケレバ本官ニハ成レナイ、本官ニ直ツタコトデ、僅ニ二百圓ノ年俸シカ得ラレス、斯ウ云フ有様、此ノ如キ待遇ナルガ故ニ宜シキ人ヲ得ナイト云フハ尤モナ次第デアル、今委員會ニ於テ賞望ト致シマシテハ、先ヅ上ノ官吏ハ免ニ角、第一著ニ最下等ナル六百圓取ノ判檢事、是ヨリ漸次上ニ及ボシ、厚イ給料ヲ與ヘルコトニシタナラバ、相當ノ人ヲ得ラレルコトデアラウ、此賞望ヲ以テ全會一致、本案ヲ可決シタ次第デアリマス左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 別ニ御異議モナイヤウデアリマスルデ採決致シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通り決シマシタ

第十五 北海道函館外四港修築ニ關スル建議案(淺羽靖君外 五名提出)

〔左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ヲ爲メ茲ニ掲載ス〕

北海道函館外四港修築ニ關スル建議案 北海道ハ東洋第一ノ石炭ニ富ミ鐵銅鑛山モ亦豐ニ森林ノ多大ナル未タ其ノ比ヲ見ヌ加之今ヤ拓殖ノ實漸ク舉カリ工業大ニ起リ且耕地ノ開クルコト最近一箇年七萬町歩其ノ生産一箇年凡一千萬圓陸産ノ總額一箇年五千萬圓ノ上ニ出テムトシ又鐵道國有ニ歸シテヨリ石炭ノ採掘益、多キヲ加ヘ木材亦大ニ海外ニ輸出セララル然ルニ鐵道ノ運搬力不足ニシテ港灣未タ完全セサルカ故ニ起業ノ發展ヲ妨ケ實業界ノ困難名狀スヘカラサルモノアリ抑、北海

道ノ地タルヤ四國九州臺灣ヲ併セテ尙不及ノ大面積ヲ有スルニ拘ラス其ノ要港タル函館小樽兩港ノ如キ僅ニ其ノ一部ニ防波堤ヲ築クノミニシテ未タ其ノ效用全カラズ留爾ハ石炭農産等ニ於ケル將來最優等ノ位置ニアルモ未タ充分ノ設備ナク太平洋ニ面スル唯一ノ釧路港モ亦農産木材石炭等ノ輸出ニ困難セリ又室蘭港ノ如キ現ニ北海道輸出石炭總額四分ノ三ヲ茲ニ出スト雖同シク其ノ修築ヲ見ルニ至ラス

右等修築スヘキモノ港灣ノ數ヨリ云ヘハ多キカ如キモ北海道ノ面積ノ大ナル生産ノ豐富ナル輸出ノ困難ナル現狀ヨリ之ヲ見レハ前五港ヲ修築スルモ尙大ニ不足ヲ感セサルヲ得ス然ルニ國家ノ施設動モスレハ其ノ緩急ヲ誤マリ時運ノ發展ヲ障ヘムトス依リテ政府ハ速ニ適當ナル財源ニ據リテ先ツ該五港修築ノ案ヲ具ヘ次期ノ議會ニ提出アラムコトヲ望ム

第十六 函館小樽室蘭三港修築速成ニ關スル建議案(大津淳一郎君外五名提出)

函館小樽室蘭三港修築速成ニ關スル建議案

函館港ハ太平洋日本海トノ咽喉ニ當リ内外航路ノ要衝ニ立チ而モ要塞所在地ニシテ大湊要港トハ實ニ呼應ノ間ニ在リテ帝國樞要ノ鑄地タルハ敢テ吹キヲ要セス又小樽港ハ帝國北部ニ於ケル日本海ニ面スル最大港ニシテ北海道ノ各種産物ノ輸出モ需用ノ輸出モ其ノ大部分ハ此ノ港ニ由ラサルヘカラス現今ニ在リテ其ノ輸出入貨物ノ噸數已ニ橫濱ヲ凌キ更ニ鐵道複線ノ成ルト共ニ一層急遽ノ増加ヲ見ムトス室蘭港ハ舊來重要ナル採炭港ナルノミナラス近時同方面ニ於ケル工業ノ企圖頗ル隆盛ナルモノアリテ驚クヘキ急速ノ發達ヲ爲サムトス殊ニ南樺太ノ折レテ帝國版圖ニ入ルト同時ニ露領沿海洲及清韓兩國トノ航通ハ著ク此ノ三港ヲ繁劇ナラシメ出入船舶ノ増加ハ早く已ニ繫船面積ヲ狭少ナルヲ覺ユルノミナラス將ニ來ルヘキ大膨脹ニ伴フコト能ハサルヤ明カリ惟フニ戰後國力發展ノ方策トシテ此ノ三港ノ修築ヲ完成スルカ如キハ正シク國家ノ急務ナリト認ム政府カ本期議會ニ於テ此ノ三港以外別ニ北海道重要ノ方面ニ新ナル港灣ノ修築ヲ企テタルニ付テハ議會ノ意思ニ依リ再調査ノ上異日必ス適當ノ發案アルヲ信スト雖此ノ三港ニ關シ政府ノ與ヘタル説明ハ頗ル緩慢ナルヲ遺憾トシ茲ニ一層急速ニ此ノ三港ノ修築ヲ完成セムコトヲ望ム

右建議ス

○ 恆松隆慶君 第十五第十六ノ日程ハ此場合一括シテ議題トナシ、提出者モ説明ヲ略スルト申シマスルカラ、ドウカ是ハ同一委員九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○ 議長(杉田定一君) 日程第十五、第十六ノ二案ハ九名ノ委員——議長指名テスカ

○ 恆松隆慶君 議長指名テゴザイマス

宣報號外 明治四十年三月二十二日

衆議院議事速記録第十九號

議事日程第十六乃至第十九ノ件

○ 議長(杉田定一君) 議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

○ 議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマシタ

○ 恆松隆慶君 又勸議ヲ出シマスガ、十七ハ撤回シマシタカ

○ 高梨哲四郎君 第十七ノ建議案ハ昨日既ニ臺灣總督府ニ於テ彩票發賣ヲ中止セラレタト云フコトデゴザイマス、即チ此案ヲ撤回致シマス

○ 議長(杉田定一君) 日程第十七ノ提出者高梨哲四郎君ヨリ撤回ノ申出ガアリマス、御異議アリマセヌカ

○ 議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

第十八 殖民廳設立ニ關スル建議案(松本君外十三名提出)

殖民廳設立ニ關スル建議案

滿洲、朝鮮、臺灣、樺太、南洋諸島、濠洲其ノ他南北兩米大陸、中央亞米利加、加奈陀等到ル處日本民族ヲ移殖シ國力ノ増進ヲ企圖スヘキノ天地甚多シ然カモ國家ニ殖民的經營ニ關シ統一セル方針ト機關ノ存セサルハ頗ル遺憾トス抑殖民ノ興廢ハ國命ノ關スル處世界ノ歴史ニ徴シテ明ナリ是ヲ以テ歐洲ノ強國必ス殖民省ヲ設ケ銳意殖民ノ發達ヲ助長セサルハナシ以テ其ノ志ノ存スル處ヲ見ルヘシ我カ殖民政治ノ得失ハ將來帝國ノ隆替ニ關スル至大ナリ故ニ政府ハ須ク議ヲ定メテ先ツ殖民廳ヲ設立シ殖民事業ノ經營ニ對シ多大ノ力ヲ盡シ列強時運ノ進潮ニ後レサラムコトヲ期セサルヘカラス

第十九 衆議院規則中改正案(田中定吉君外四名提出)

衆議院規則中改正案

衆議院規則中左ノ通改正ス

- 第四十二條 議院ハ每會期ノ始ニ於テ左ニ列舉スル常任委員ヲ設定ス
- 一 豫算委員 全員
- 一 決算委員 全員
- 一 懲罰委員 二十七人
- 一 請願委員 四十五人

其ノ他議員ノ勸議ニ依リ議院ニ於テ必要ト認ムルモノ

○ 恆松隆慶君 十八、十九モ此場合一括シテ議題ト爲シ、是ハ各案毎ニ九名ノ委員、議長指名アラシムコトヲ望ミマス

○ 議長(杉田定一君) 御異議アリマセヌカ

○ 議長(杉田定一君) 日程第十八ハ延期ヲシテ

○ 議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、十八、十九ハ各案毎ニ議長指名ノ九

名ノ委員ニ付託スルト云フニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマス——報告ガアリマス

(書記朗讀)

一 貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出郡制廢止法律案ヲ否決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一 議員ヨリ提出セラレタル議案ノ左ノ如シ

鑛業獎勵ニ關スル建議案

提出者 宮古啓三郎君 吉植庄一郎君 丸山嵯峨一郎君
福井三郎君 松原九郎君 矢島浦太郎君
淺羽靖君 早速整爾君

〔ホテル〕開設ニ關スル建議案

提出者 淺羽靖君 小河源一君 大戸復三郎君
持田若佐君 竹内正志君

一 刑法改正案兩院協議委員議長及副議長左ノ適當選セラレタリ

議長 磯部四郎君 副議長 谷澤龍藏君

一 委員ヲ指定スルコト左ノ如シ

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案 澤田佐助君 青柳信五郎君
大井卜新君 金岡又左衛門君 東尾平太郎君
榎木卿太郎君 花井卓藏君 武市庫太郎君
山根正次君

日本勸業銀行法中改正法律案外二件

島津良知君 永島龜代司君 景山甚右衛門君
河原林義雄君 清水隆徳君 坂口仁一郎君
大野龜三郎君 奥村善右衛門君 早速整爾君

北海道函館外四港修築ニ關スル建議案外一件

吉植庄一郎君 中西六三郎君 内藤魯一君
中倉万次郎君 平島松尾君 守屋此助君
大津淳一郎君 淺羽靖君 橋本久太郎君

殖民廳設立ニ關スル建議案

松本君平君 日向輝武君 江藤哲藏君
川原茂輔君 飯島省三郎君 森田卓爾君
田中喜太郎君 紫垣一雄君 山口熊野君

衆議院規則中改正案

竹越與三郎君 高橋安爾君 田中定吉君
澤田寧君 江藤新作君 國井庫君
片山正中君 望月小太郎君 鵜飼退藏君

○議長(杉田定一君) 二十三日ハ開會ハ致シマスガ、日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時五十三分散會